

はじめに

この度は1/100 完全変形 TR-6 ウインドウォートをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本キットは285パーツとパーツ数が多く、構成もレジンキャストパーツと3Dプリントパーツのハイブリッドとなり、従来のガレージキットとはやや構成が異なるものとなります。

3Dプリントパーツの組み立てに関してはポリ棒の軸打ちや、グリスアップ、すり合わせ調整といった特殊な工程も含まれます。組み立て説明、各工程の詳細はディーラーサポートページ(aarumodels.com)にて動画等も交えて解説させていただきます(2017年9月初旬から9月末にかけて順次公開)。twitterでも告知いたしますのでうしばらくお待ち下さい。

ディーラー AARU ご連絡先

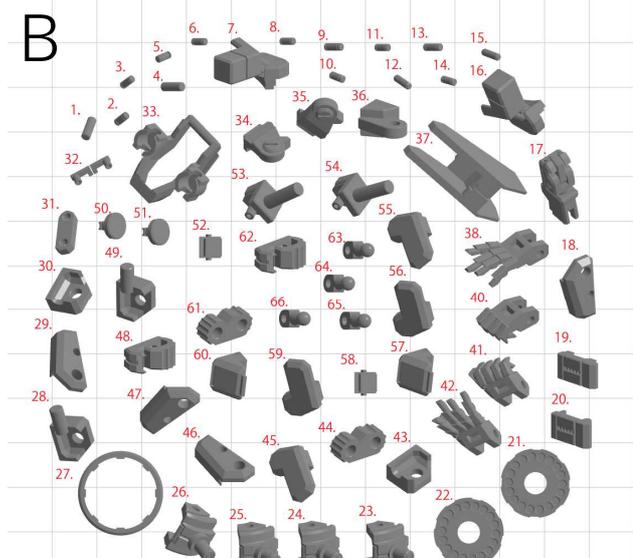
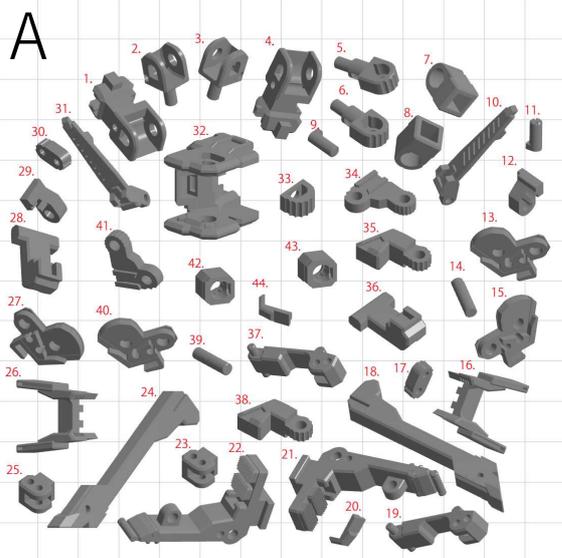
代表者：インコ先生

Twitter : @inkoteacher

Web : aarumodels.com

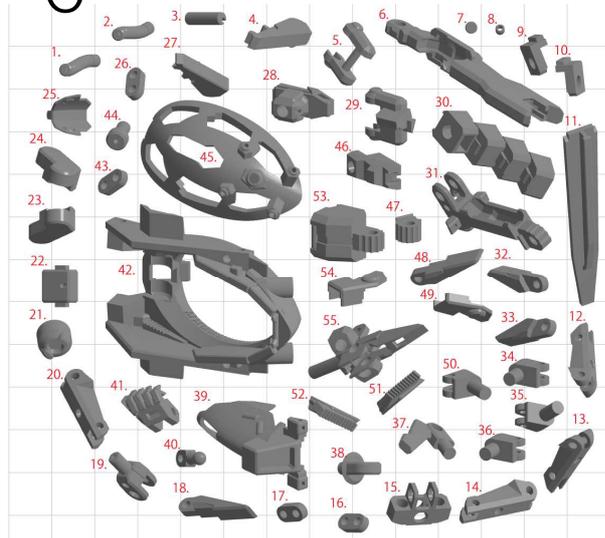
Mail : aaru.inko@gmail.com

パーツリスト

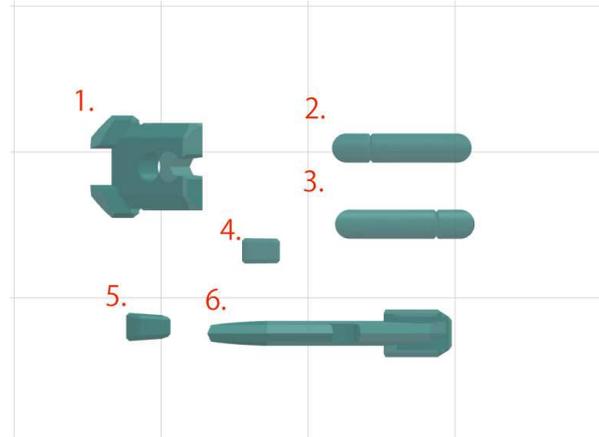


パーツリスト

C

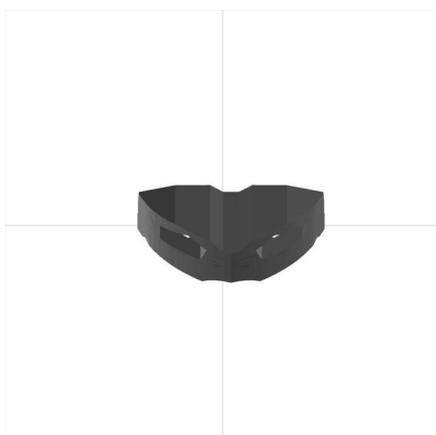


D

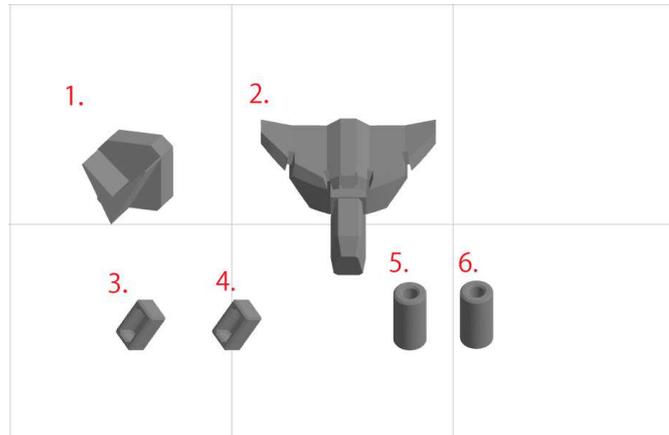


パーツリスト

E

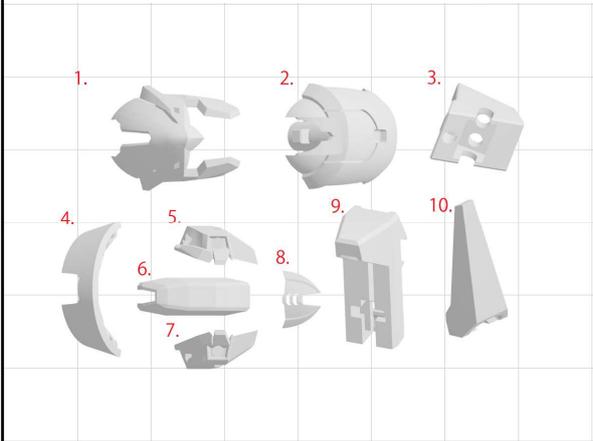


F



パーツリスト

G



H



パーツリスト

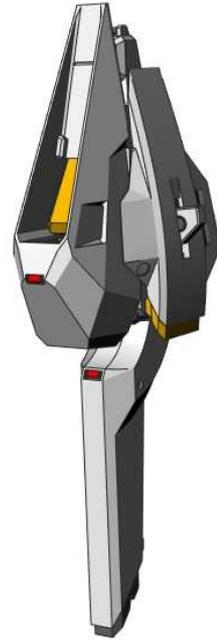
I



J

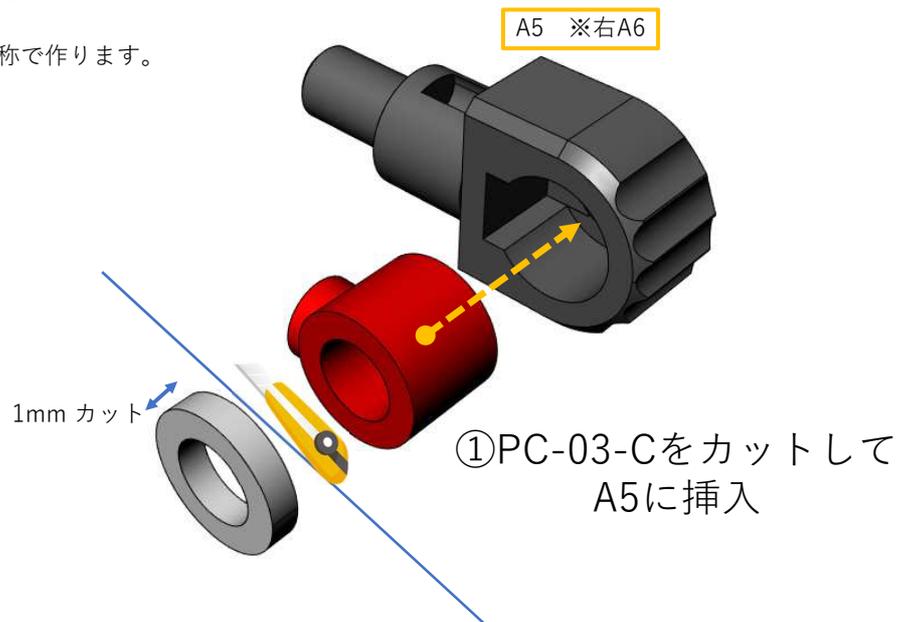


脚部の組み立て



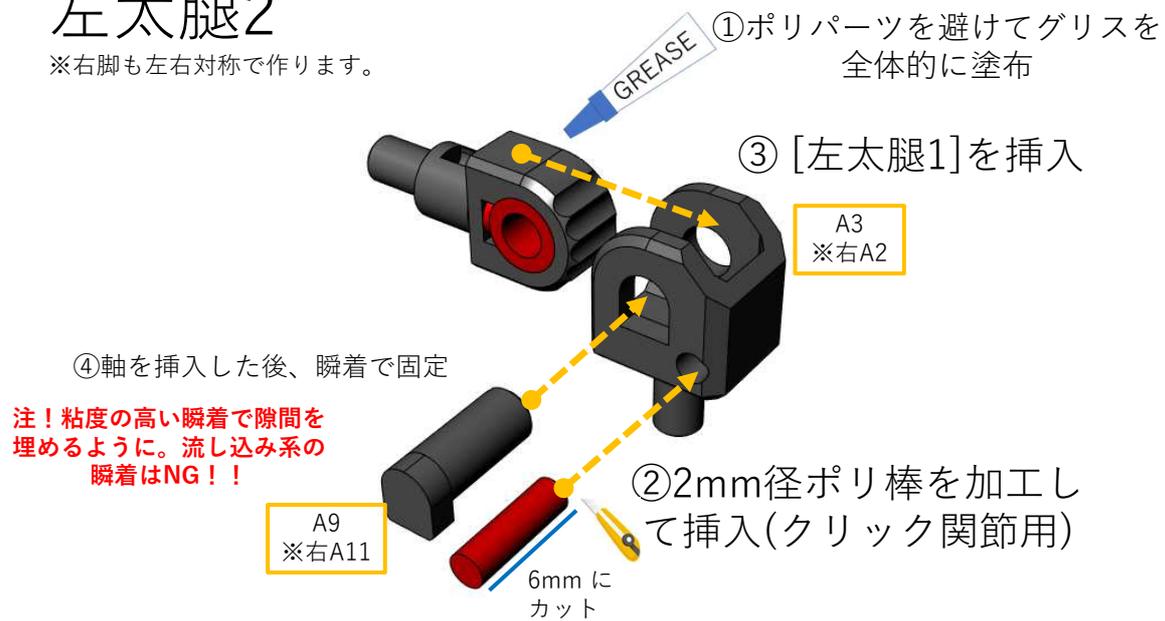
左太腿1

※右脚も左右対称で作ります。



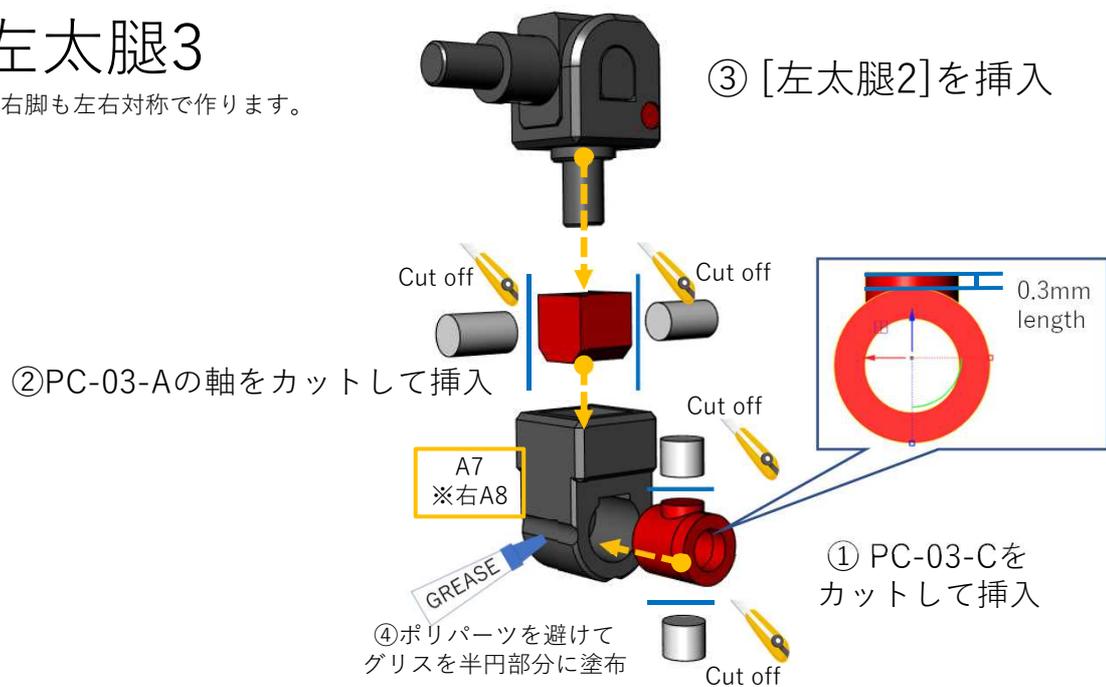
左太腿2

※右脚も左右対称で作ります。



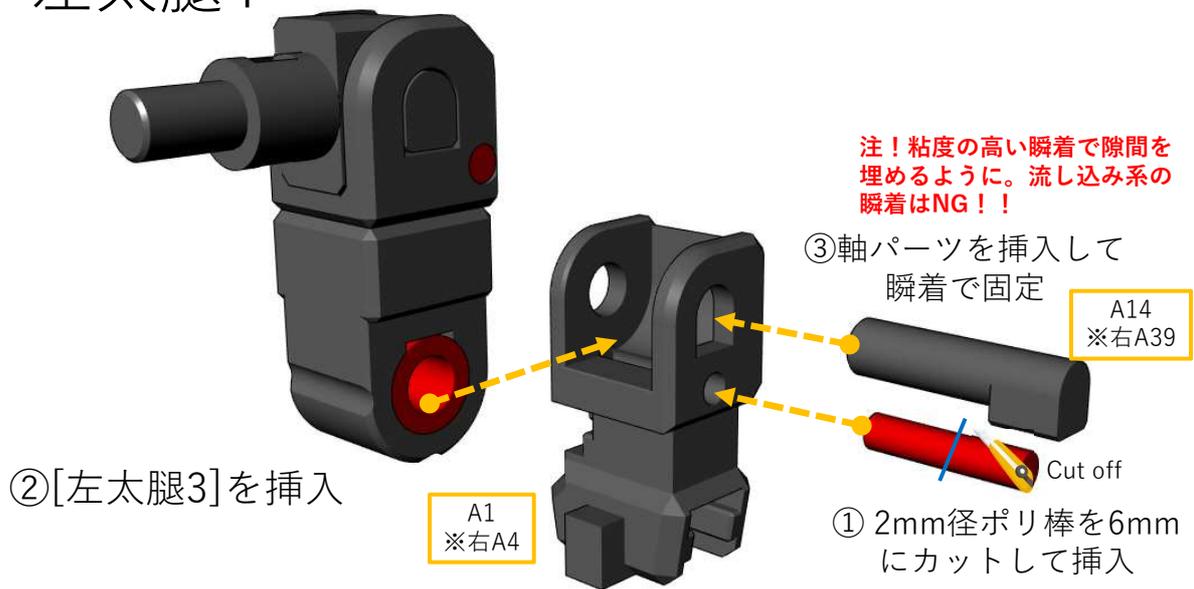
左太腿3

※右脚も左右対称で作ります。



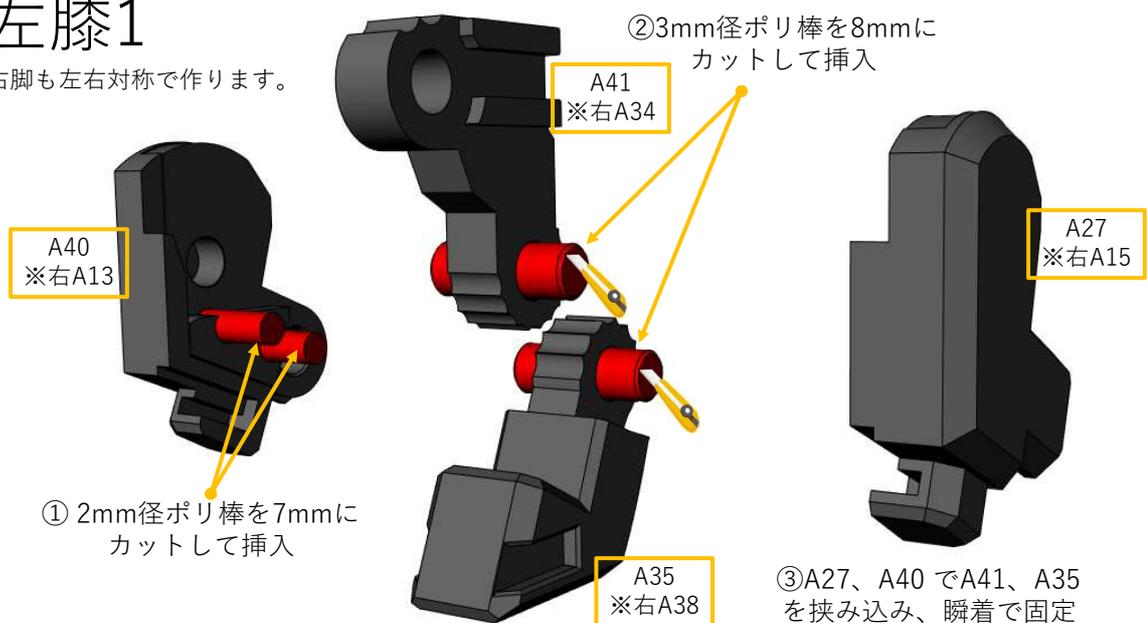
左太腿4

※右脚も左右対称で作ります。



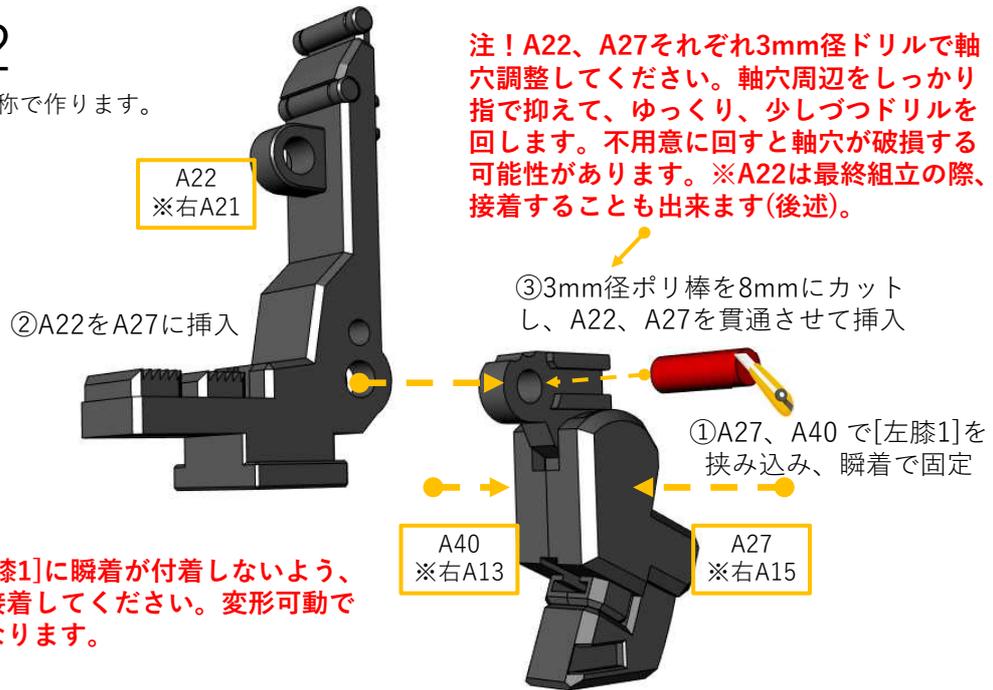
左膝1

※右脚も左右対称で作ります。



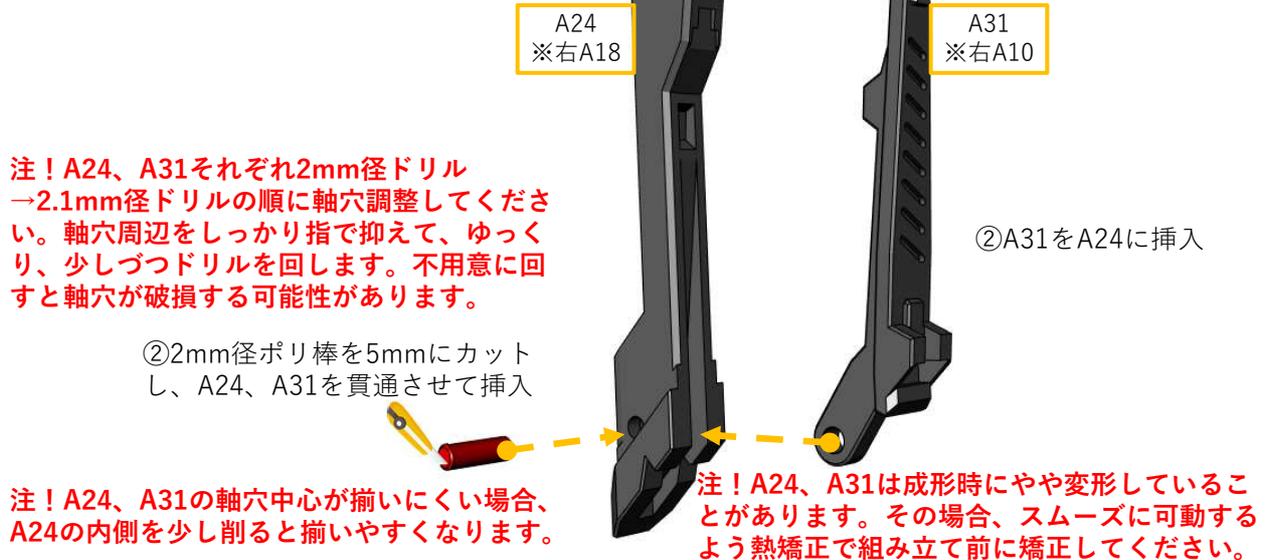
左膝2

※右脚も左右対称で作ります。



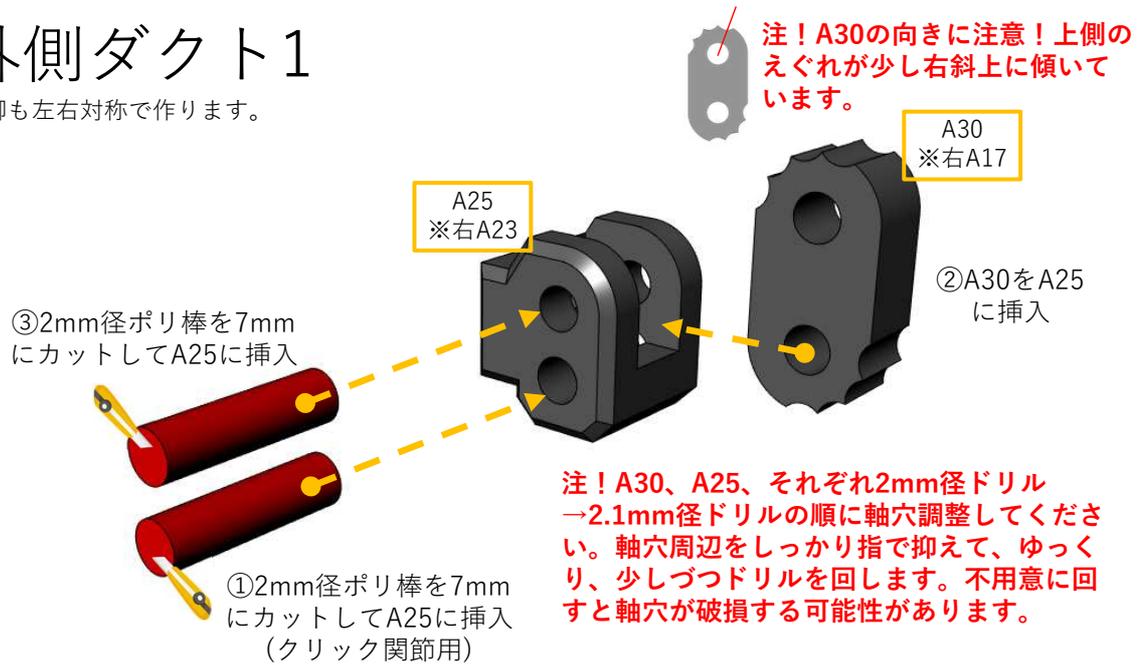
左脛1

※右脚も左右対称で作ります。



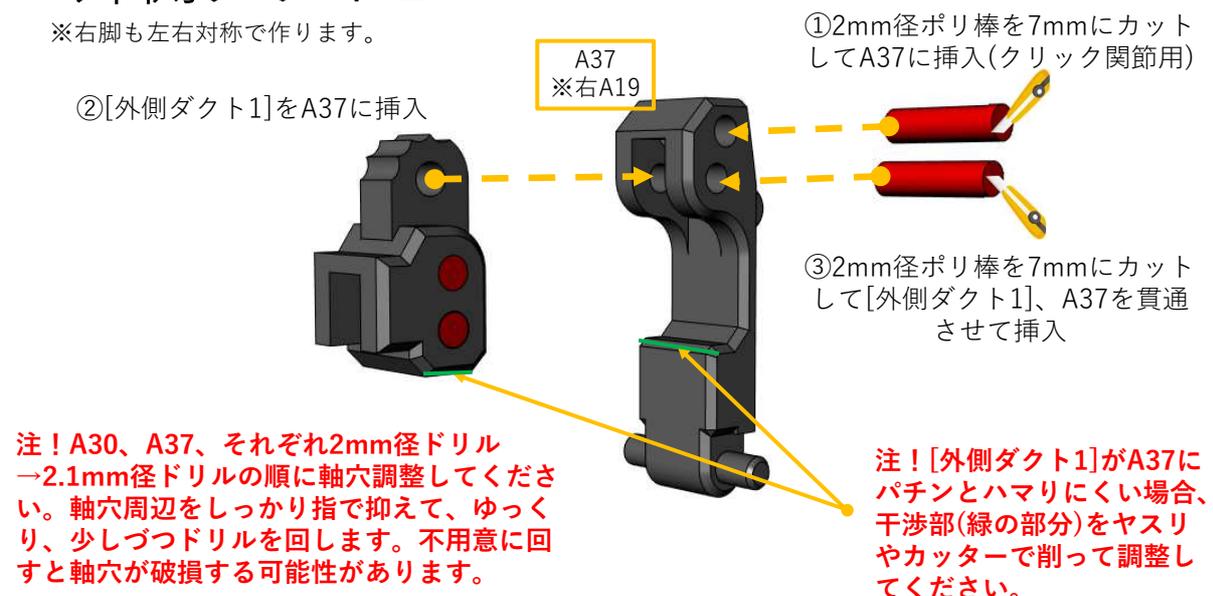
外側ダクト1

※右脚も左右対称で作ります。



外側ダクト2

※右脚も左右対称で作ります。



脚部フレームのまとめと簡易仕上げについて

※右脚も左右対称で作ります。

注！次工程から外装パーツをフレームに接着していきます。塗装&接着する前に各パーツの可動、すり合わせをしっかりご確認ください。

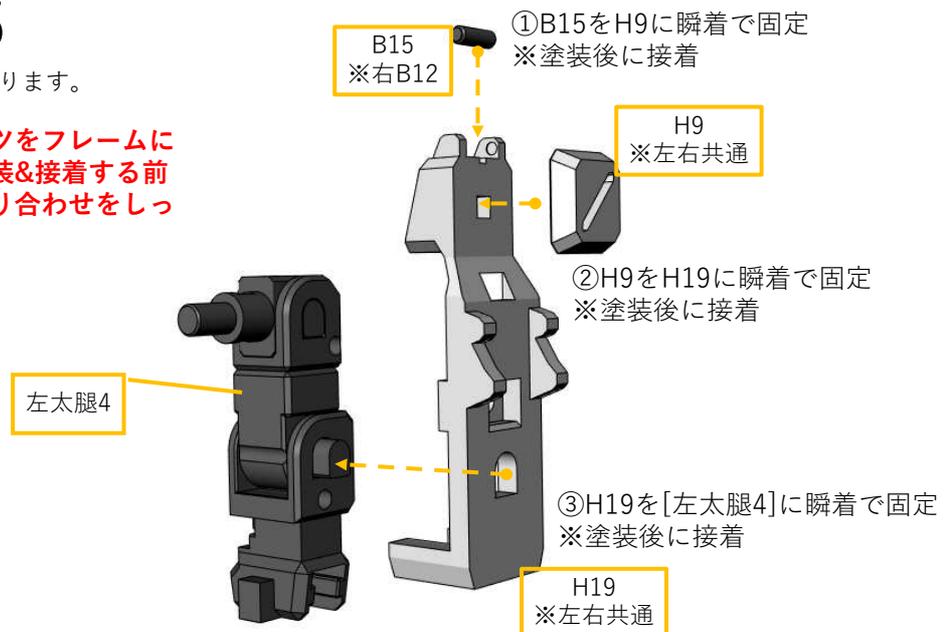
注！フレーム自体を全塗装する場合、組立順序、クリアランスは製作者様、ご自身の判断で調整してください。フレーム全塗装は干涉部、すり合わせの調整の難易度が格段に高まりますので、原型製作者の立場としては、クリア塗装による簡易仕上げを推奨いたします。



左太腿5

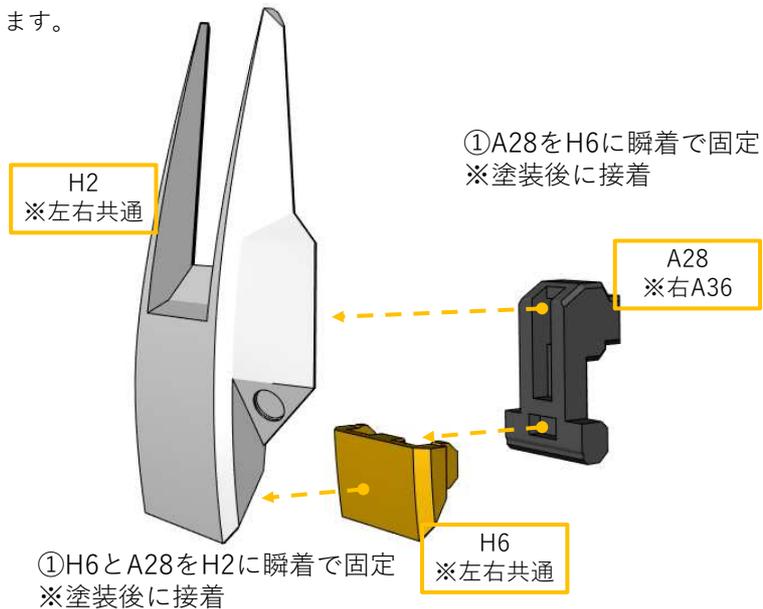
※右脚も左右対称で作ります。

注！これより外装パーツをフレームに接着していきます。塗装&接着する前に各パーツの可動、すり合わせをしっかりご確認ください。



内側ダクト1

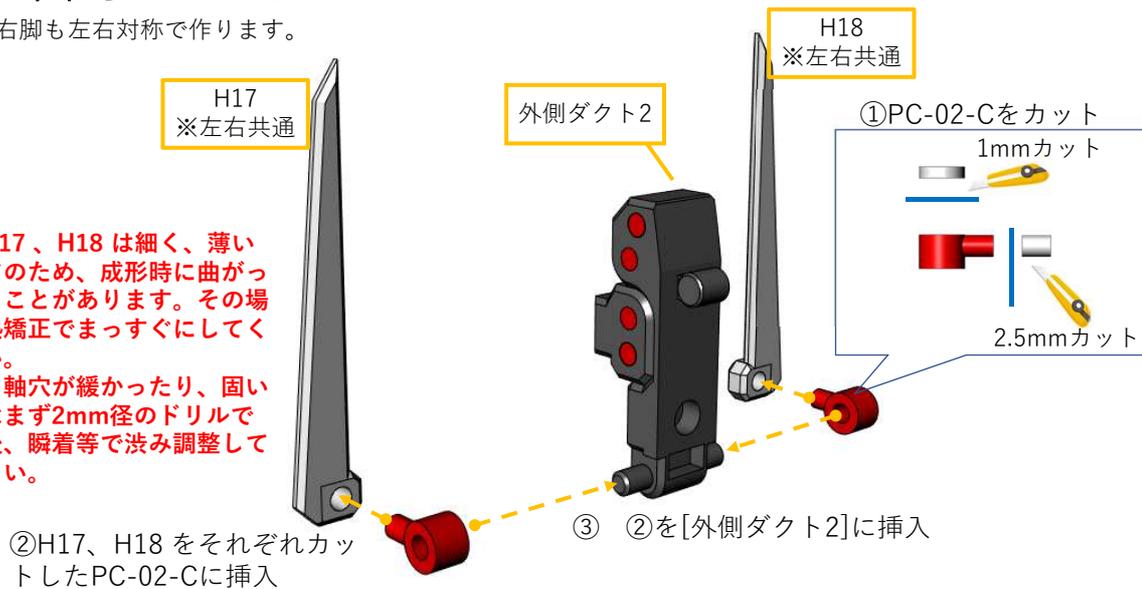
※右脚も左右対称で作ります。



外側ダクト2

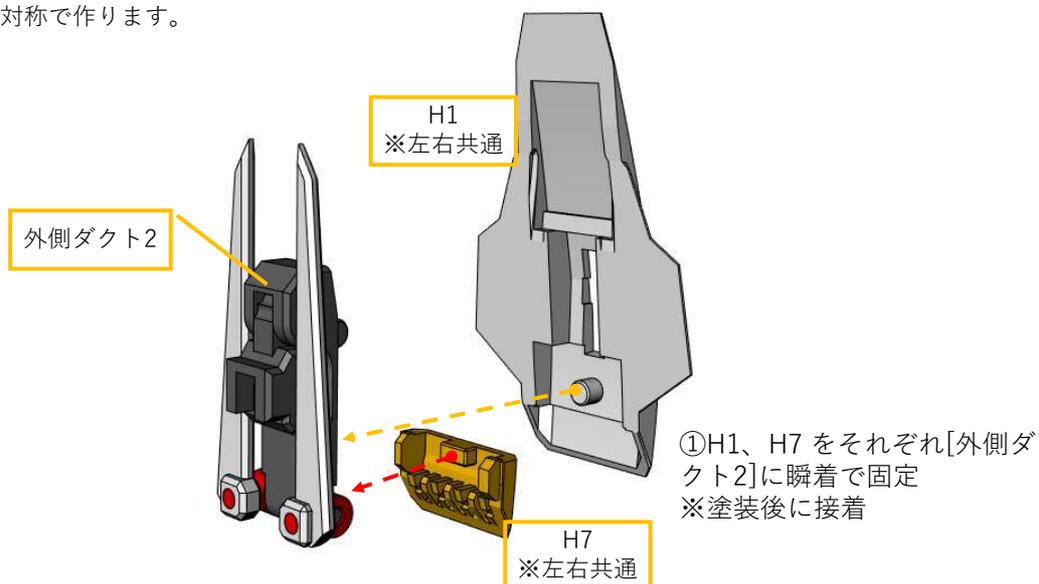
※右脚も左右対称で作ります。

注！H17、H18 は細く、薄いパーツのため、成形時に曲がっていることがあります。その場合、熱矯正でまっすぐにしてください。
また、軸穴が緩かったり、固い場合はまず2mm径のドリルで調整後、瞬着等で渋み調整してください。



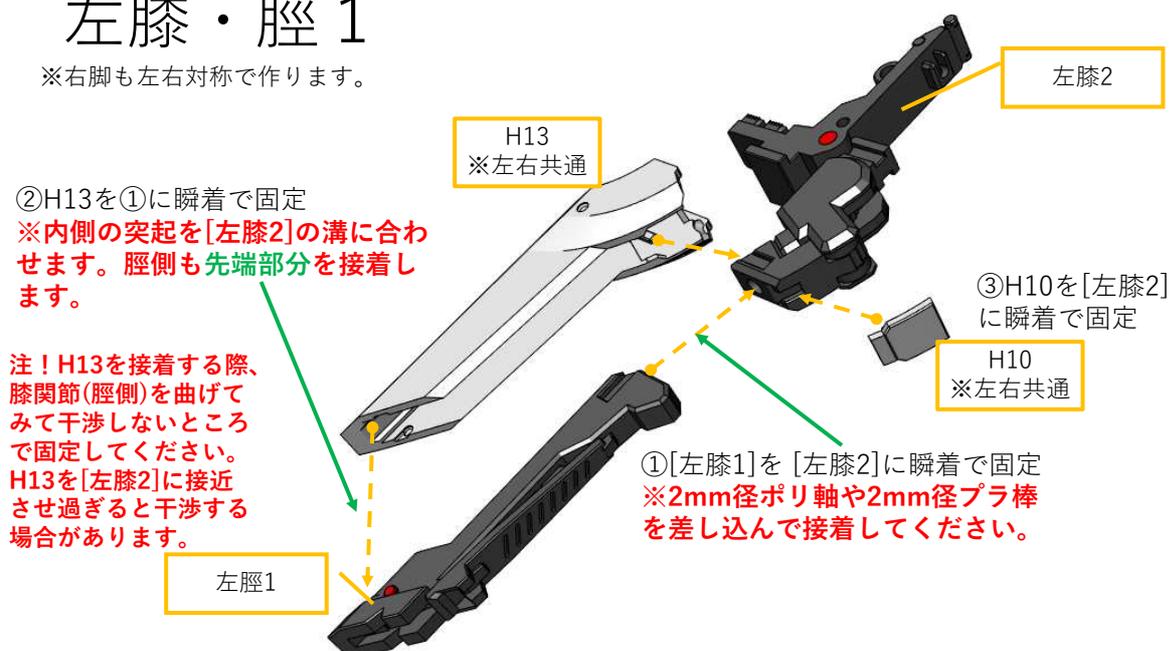
外側ダクト3

※右脚も左右対称で作ります。



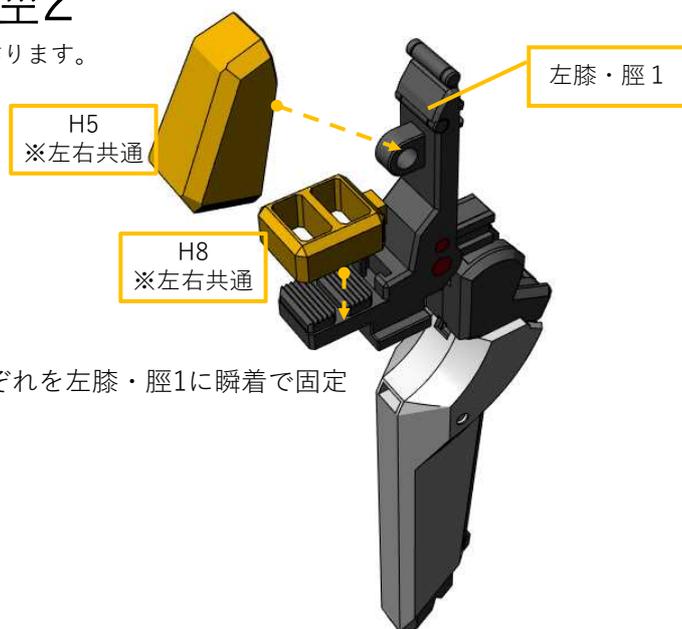
左膝・脛1

※右脚も左右対称で作ります。



左膝・脛2

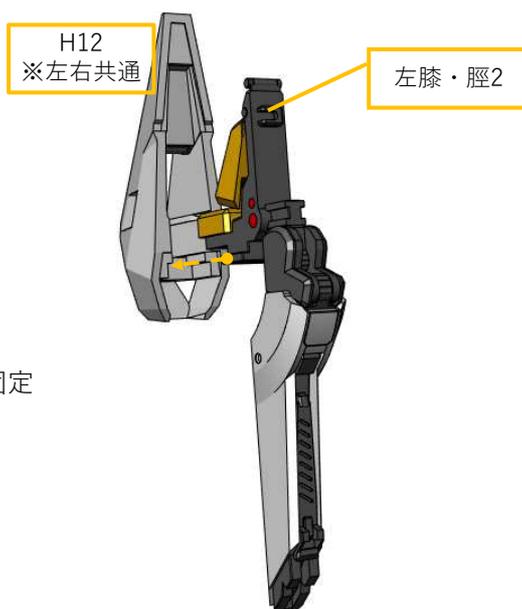
※右脚も左右対称で作ります。



- ①H5、H8それぞれを左膝・脛1に瞬着で固定
※塗装後に接着

左膝・脛3

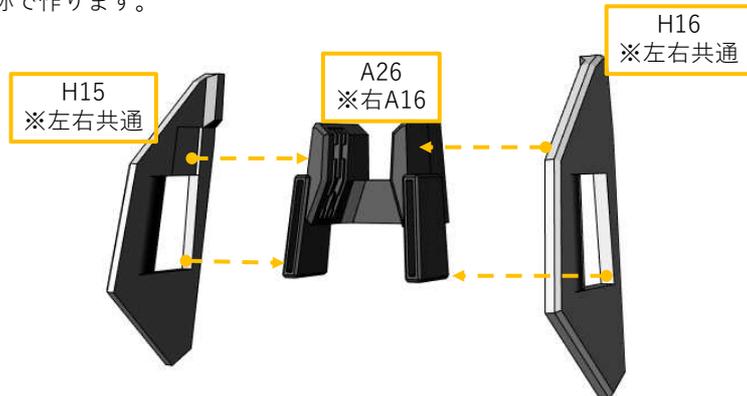
※右脚も左右対称で作ります。



- ①H12を左膝・脛2に瞬着で固定
※塗装後に接着

脚裏バインダー1

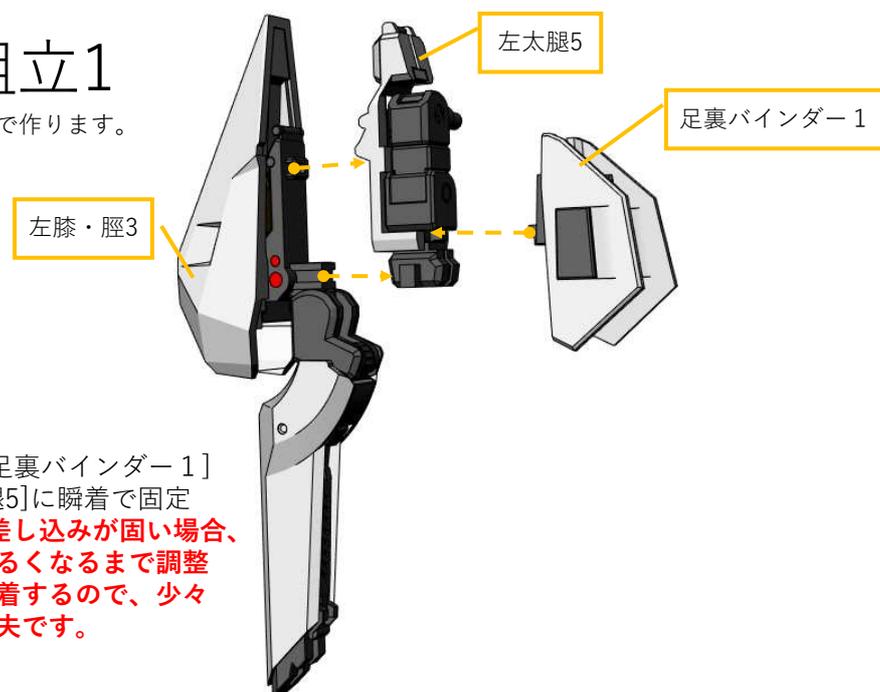
※右脚も左右対称で作ります。



- ①H15、H16 それぞれをA26に瞬着で固定
※塗装後に接着

左脚組立1

※右脚も左右対称で作ります。



- ①[左膝・脛3]、[足裏バインダー1]
それぞれを[左太腿5]に瞬着で固定
※ [左膝・脛3]の差し込みが固い場合、
ヤスリで削ってゆるくなるまで調整
してください。接着するので、少々
削りすぎても大丈夫です。

左脚組立2

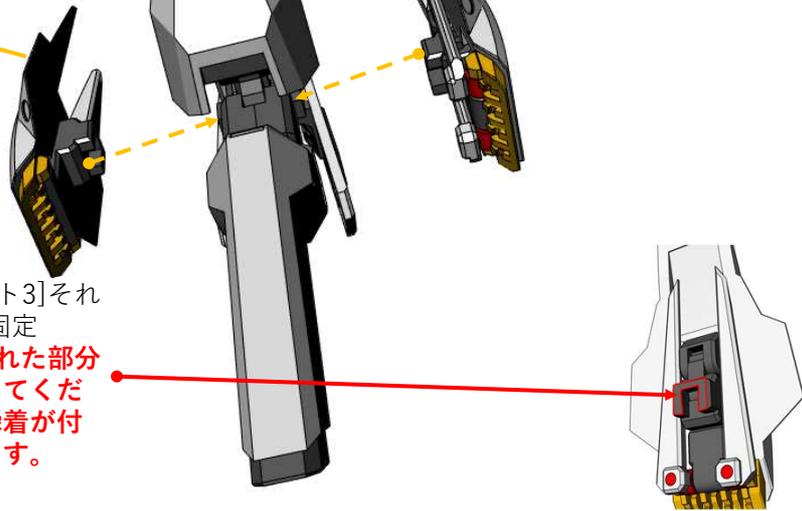
※右脚も左右対称で作ります。

内側ダクト1

左足組立1

外側ダクト3

①[内側ダクト1]、[外側ダクト3]それぞれを[左足組立1]に瞬着で固定
 ※ [外側ダクト3]は赤く囲まれた部分に少量、瞬着を塗布し接着してください。内部の可動パーツに瞬着が付着すると変形できなくなります。



左脚組立3

※右脚も左右対称で作ります。

B 14
※右B10

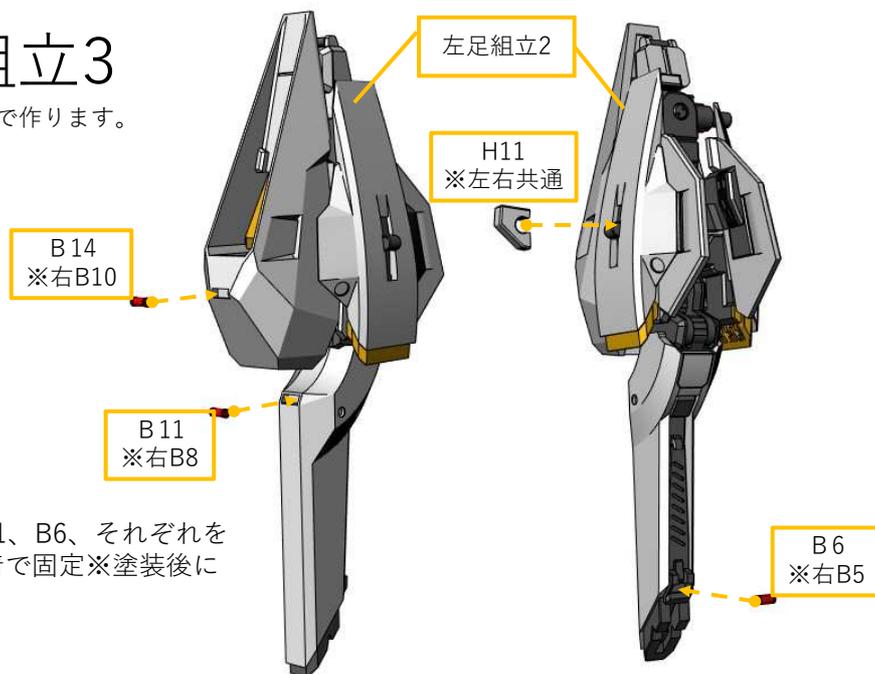
左足組立2

H11
※左右共通

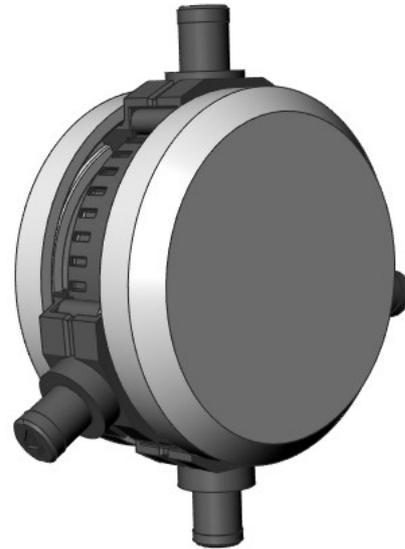
B 11
※右B8

B 6
※右B5

①B14、B11、H11、B6、それぞれを[左足組立2]に瞬着で固定※塗装後に接着



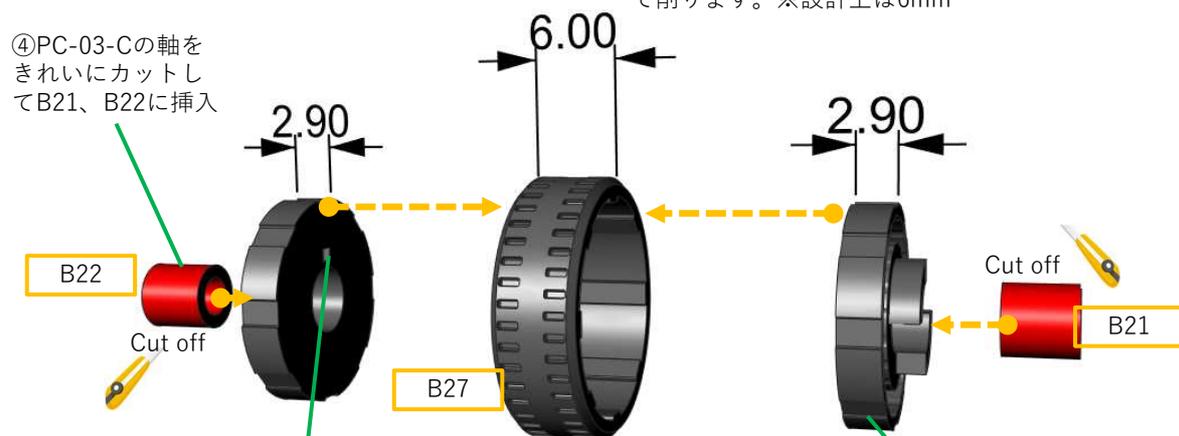
ドラムフレーム の組み立て



ドラムフレーム1

① B27をランナーから切り離し、全幅が5.8mm~6mmになるようにサポート面をヤスリで削ります。※設計上は6mm

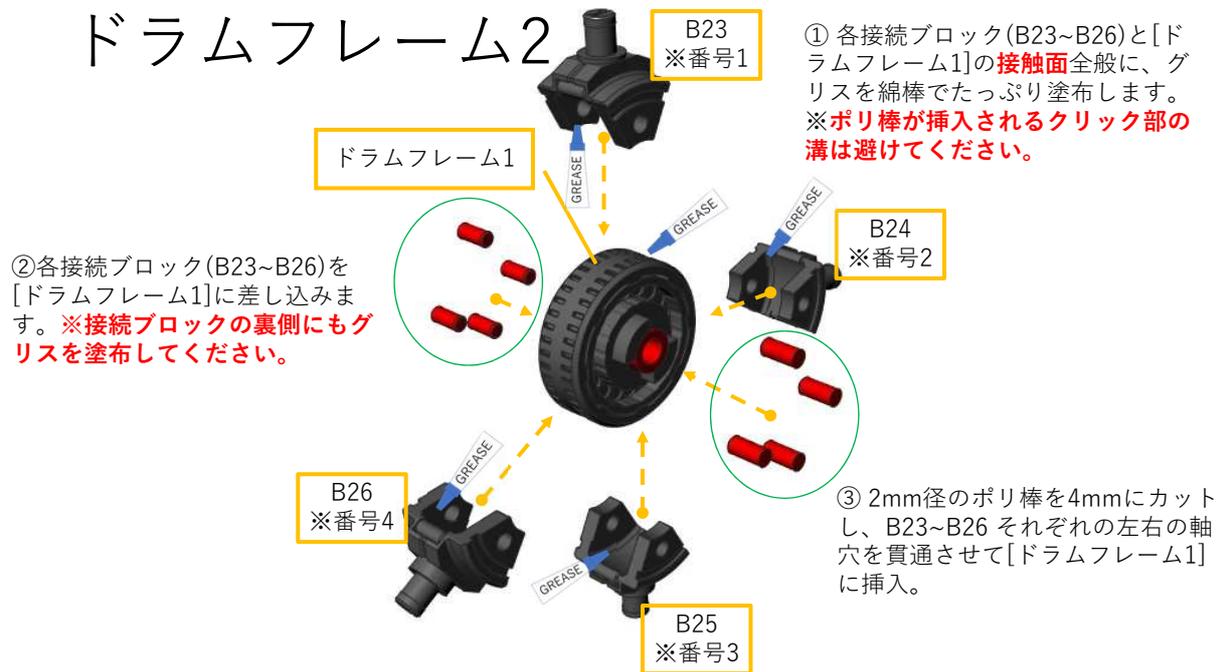
④PC-03-Cの軸をきれいにカットしてB21、B22に挿入



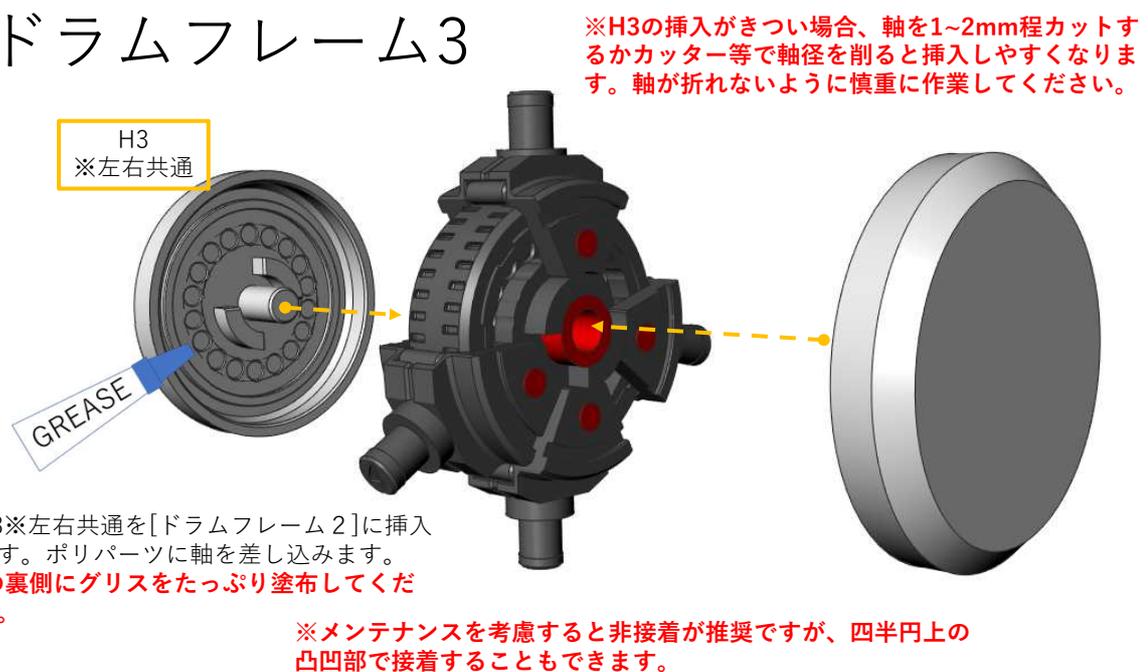
③B21、A22の裏面の印を確実に合わせてB27に挿入し、瞬着で固定※B21、B22、共にB27の厚みを超えないよう、事前にすりあわせの上で接着してください。

②B21、A22それぞれ、厚みが2.8mm~2.9mmになるようにサポート面をヤスリで削ります。※設計上は2.9mm

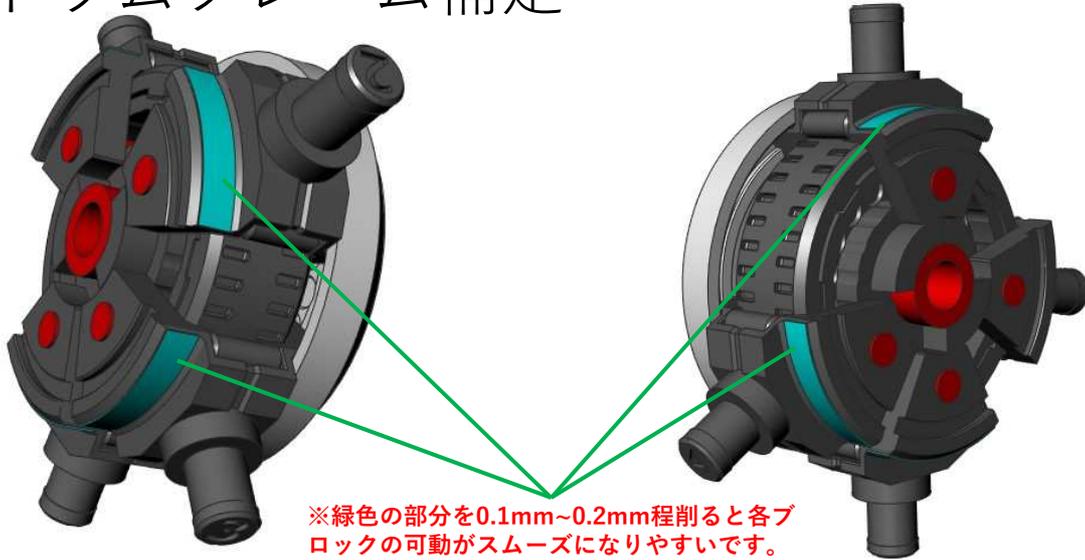
ドラムフレーム2



ドラムフレーム3



ドラムフレーム補足

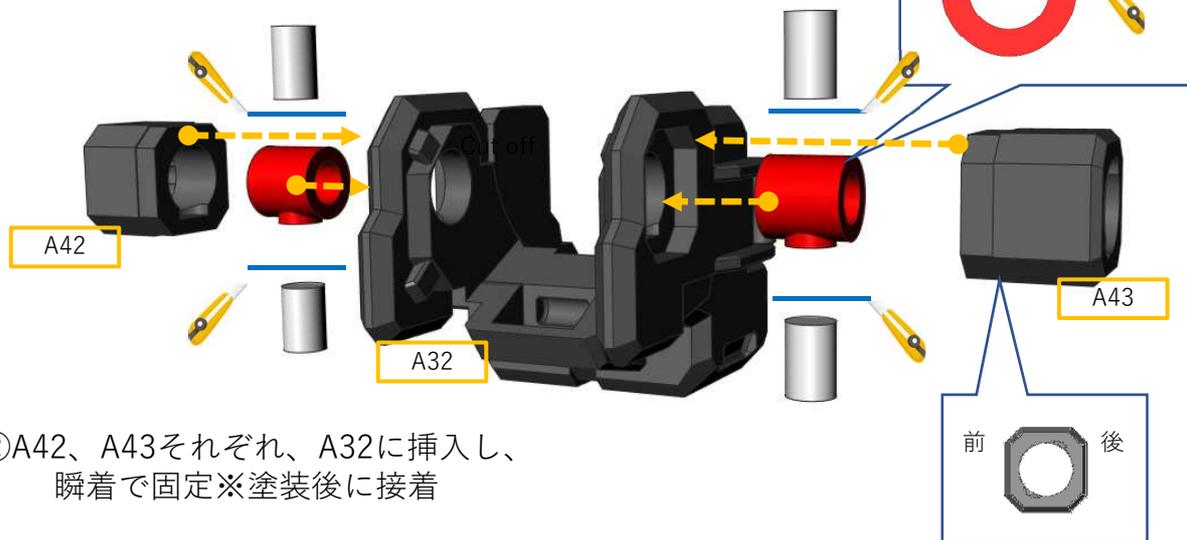


股関節フレーム の組み立て



股関節ブロック1

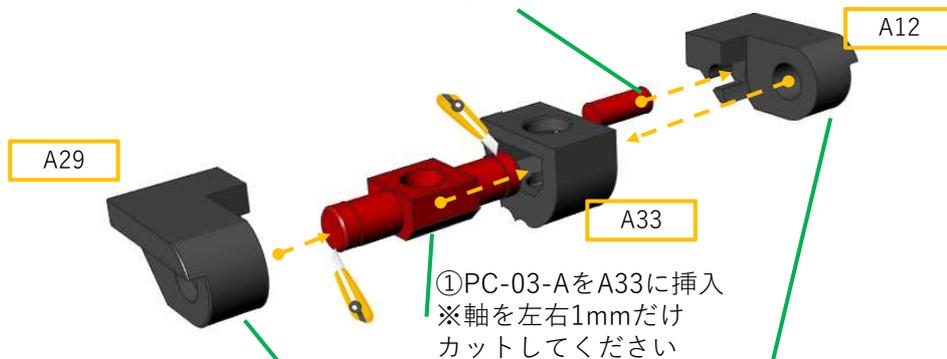
① PC-03-Cの軸を片方だけ
0.3mm程残してカットし、
A32に挿入



② A42、A43それぞれ、A32に挿入し、
瞬着で固定※塗装後に接着

股関節ブロック2

② 2mm径ポリ棒を5mmにカット
しA12に挿入

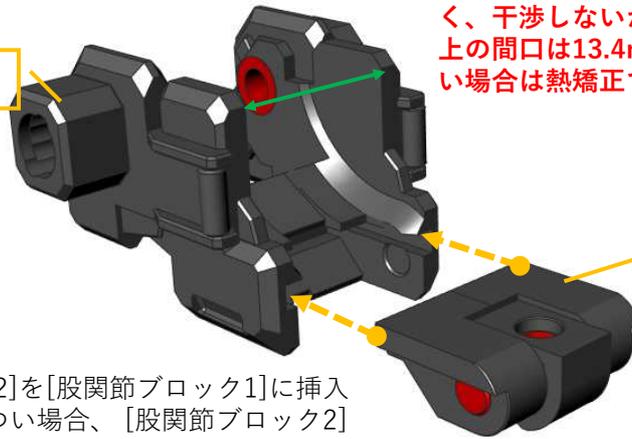


① PC-03-AをA33に挿入
※軸を左右1mmだけ
カットしてください

③ A29、A12でA33を挟み込んで
瞬着で固定。※塗装後に接着

股関節ブロック3

股関節ブロック1



注：このブロックにドラムフレームがすっぽり収まります。事前にはめてみて、きつく、干渉しないか確認してください。設計上の間口は13.4mmです。もしそれより狭い場合は熱矯正で広げてください。

股関節ブロック2

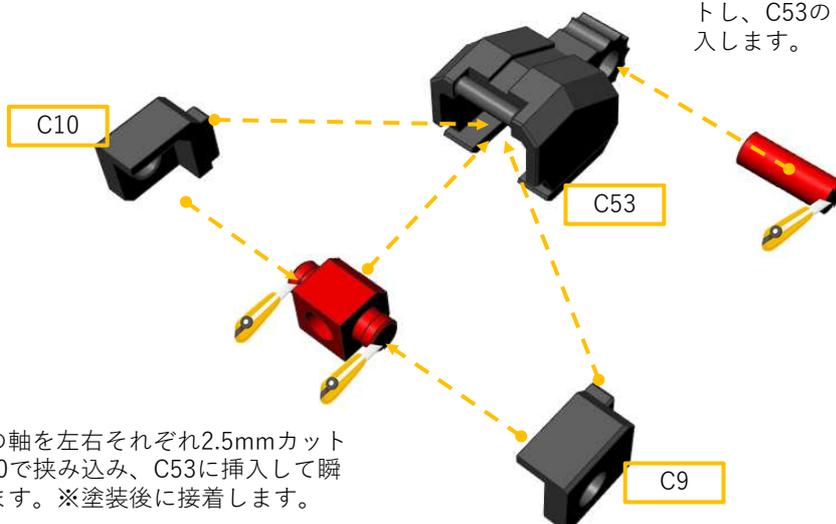
①[股関節ブロック2]を[股関節ブロック1]に挿入
※すり合わせがきつい場合、[股関節ブロック2]
側の左右の突起等を削って調整してください。

ブーストポッド
の組み立て



接続アーム1

②3mm径ポリ棒を8mmにカットし、C53のクリック軸穴に挿入します。

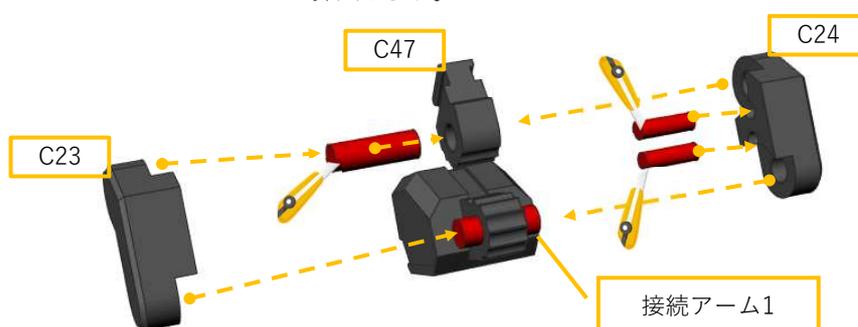


①PC-03-Cの軸を左右それぞれ2.5mmカットし、C9、C10で挟み込み、C53に挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着します。

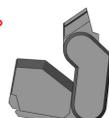
接続アーム2

①3mm径ポリ棒を8.6mmにカットし、C47のクリック軸穴に挿入します。

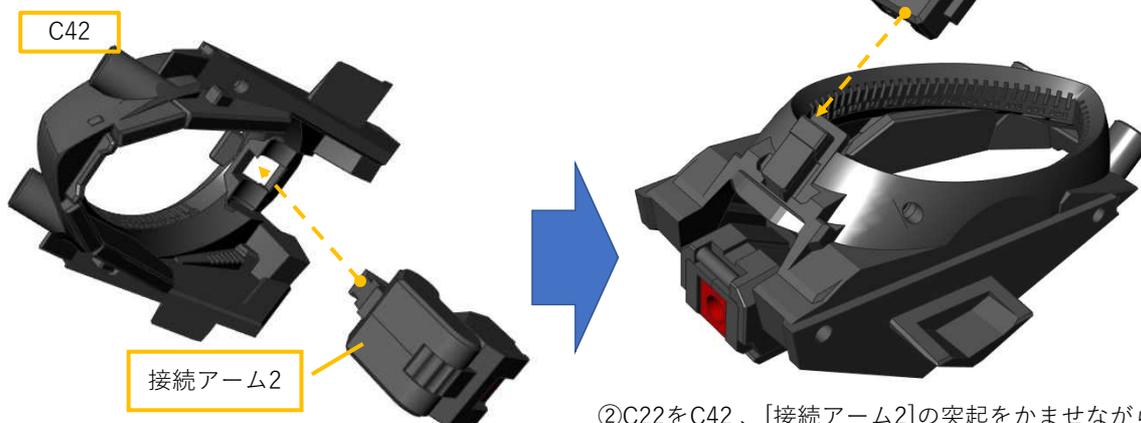
②2mm径のポリ棒を6mmにカットしてC24に挿入します。



③C47と[接続アーム1]をC23、C24で挟み込んで瞬着で固定します。※塗装後に接着します。
※各パーツの向きに注意！右図を参考にしてください。



ポッドフレーム1



①[接続アーム2]をC42に挿入します。
※まだ接着しません！

②C22をC42、[接続アーム2]の突起をかませながら挿入します。

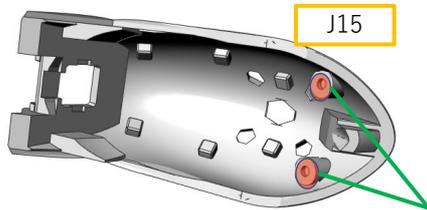
※まだ接着しません！また、C22のハマ合わせが非常に硬いので、C22、[接続アーム2]側の突起を削って、着脱しやすいように調整してください。※最終的には接着します。

ポッドフレーム2



①C45を[ポッドフレーム1]に挿入します。
※まだ接着しません！

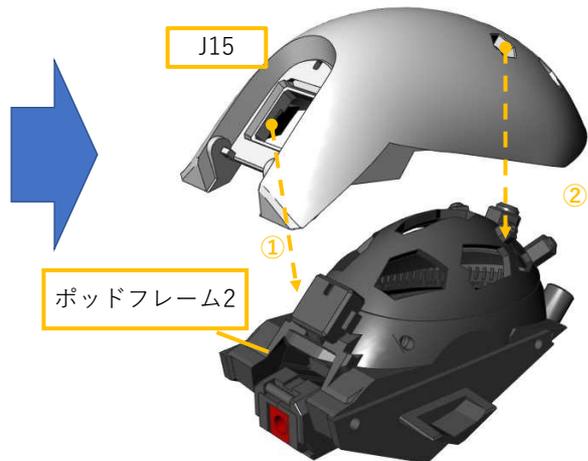
ポッド1



①まずJ15を加工します。色の付いた円筒部分が干渉しますのでカッターやヤスリで削ってください。**※組み立て後見えなくなる部分です。下図程きれいに削る必要はありません。干渉が解消できればOKです。**

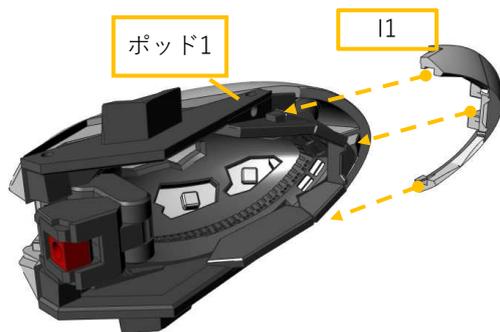


※お詫び：ここは設計漏れでした。誠に申し訳ございません。お手数をおかけいたしますが、加工をお願い致します。

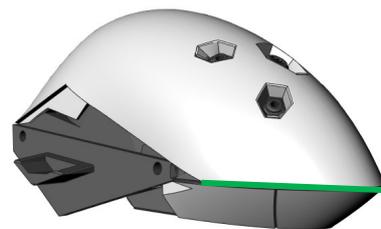


②J15を[ポッドフレーム2]に挿入します。まず後方の①を差し込み、その後、前部の②側を合わせます。**※ここでもまだ接着しません！**

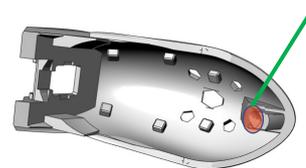
ポッド2



①I1を[ポッド1]に挿入します。

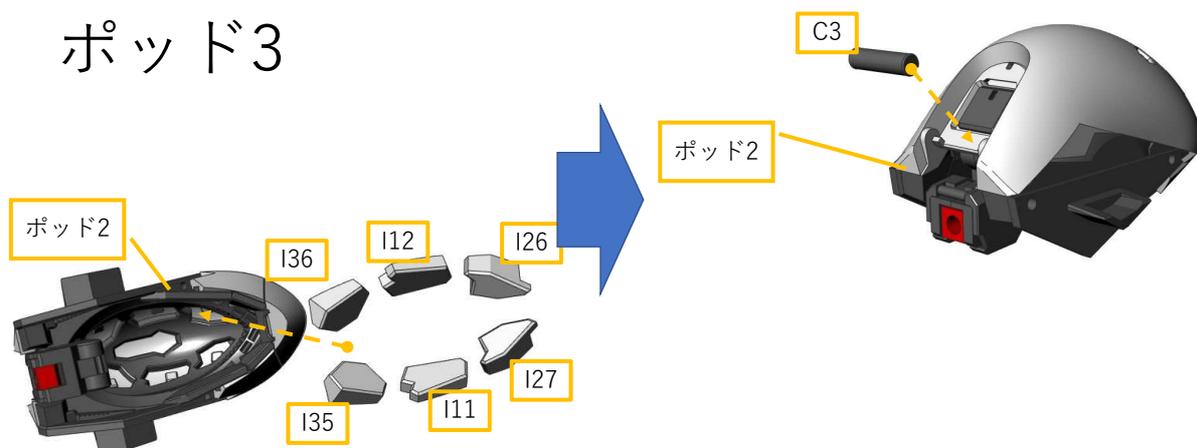


※緑の部分に隙間が見える場合、下図の色が着いた部分を削るか、フレーム側を削ってください。



※ブーストポッドはここまで組み立てできることを確認した後、各パーツを塗装、接着してください。

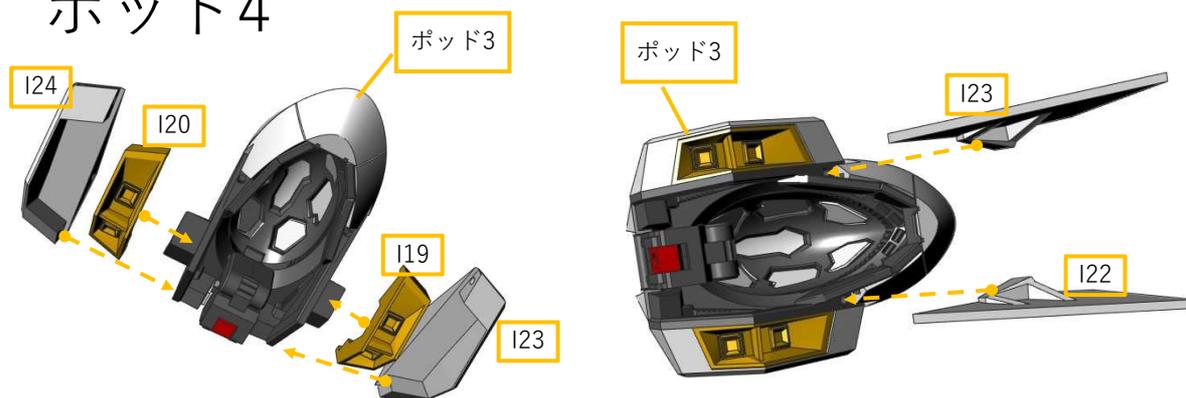
ポッド3



①冷却ガスタンク(I11、I12、I26、I27、I35、I36)を[ポッド2]に挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着。

② C3を[ポッド2]に挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着。

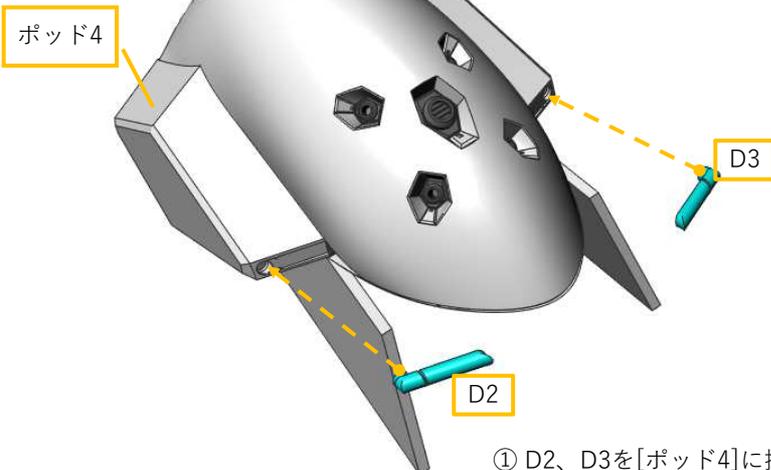
ポッド4



① I20、I19、I24、I23を[ポッド3]に挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着。

② I22、I23を[ポッド3]に挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着。
※I22、I23は2mm径の穴を開けることで、ポリ棒で脱着可能にできます。

ポッド5

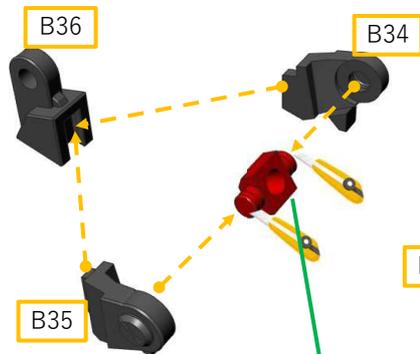


① D2、D3を[ポッド4]に挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着。

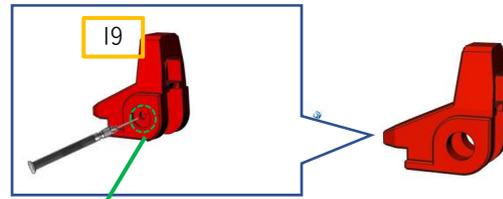
股間スラスター の組み立て



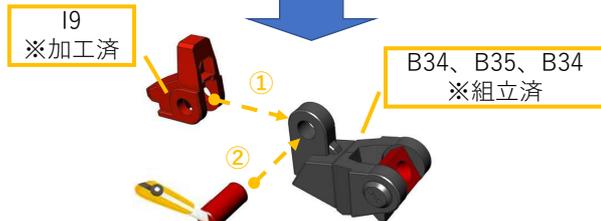
ジョイント1



- ① PC-03-Bの軸を左右共に2.5mmカットし、B34、B35で挟み込みます。
- ② B34、B35をB36に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後、接着します。

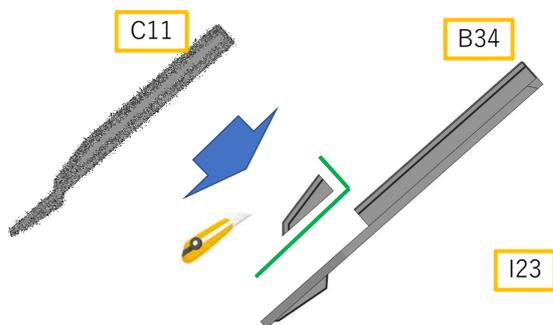


- ③ I9の破線丸で囲った部分にドリルで3mmの穴を開けます。※塗装前に加工。
※中心にガイドがあるので、小さなドリルや千枚通しからはじめて徐々に穴を広げてください。



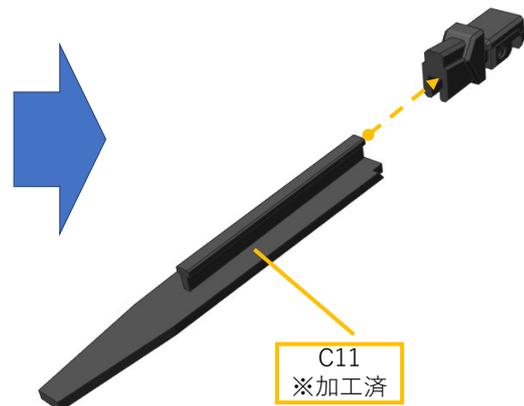
- ④ I9をB36に差し込み、6mmにカットした3mm径のポリ棒を貫通させて挿入します。※塗装後に組み立て。

ベース1



- ① C11がこのままでは次工程で干渉してしまうため、加工します。緑線の部分でカットしてください。※ニッパー等でカットするのは厳禁です。デザインナイフ、ヤスリ、ホビーソー等で慎重に削ってください。

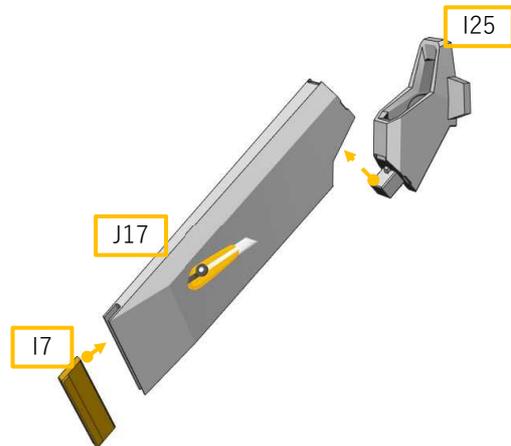
※お詫び：ここは設計漏れでした。誠に申し訳ございません。お手数をおかけいたしますが、加工をお願い致します。



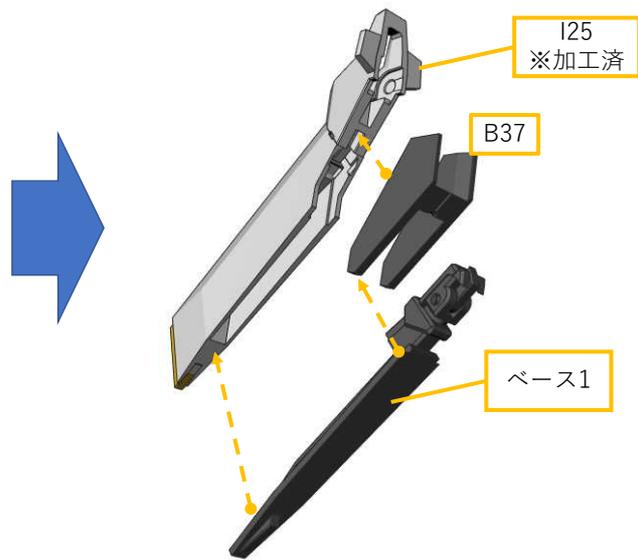
- ② C11をC17に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着。

※少しはめ込みづらいので、C11側の突起をヤスリで削って調整してください。接着しますし見えなくなる部分ですので少々削りすぎても問題ありません。

スラスター1

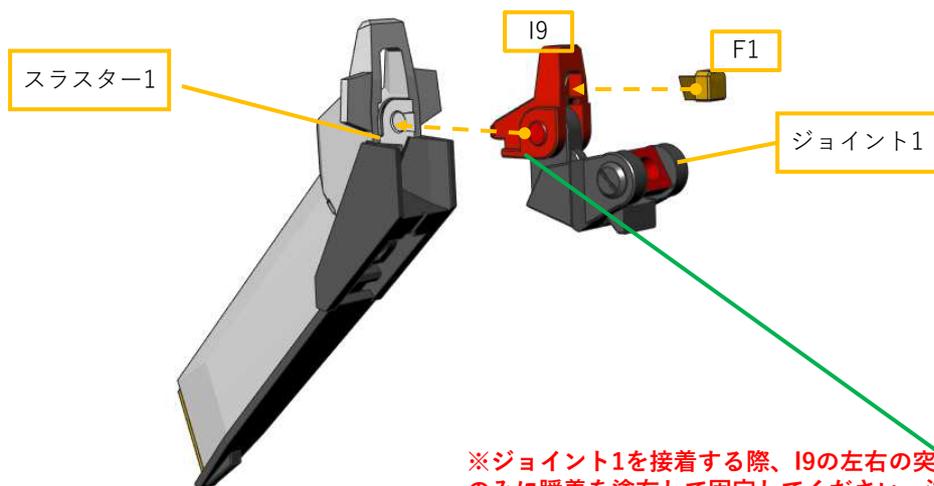


① J17にI25、I7を挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着。



② I25に、J17にB37、[ベース1]を挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着

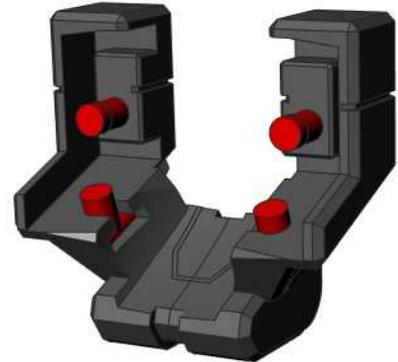
スラスター2



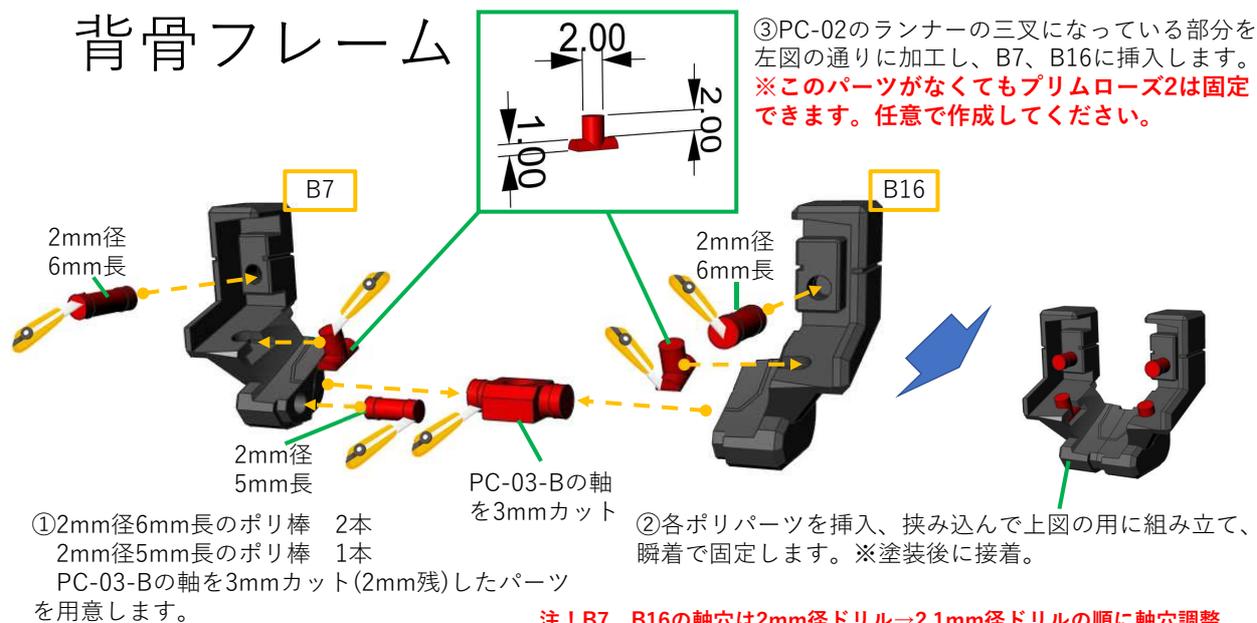
① [ジョイント1]にF1、続いて[スラスター1]に挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着。

※ジョイント1を接着する際、I9の左右の突起部分のみに瞬着を塗布して固定してください。決して[ジョイント1]には付着しないように留意してください。

背骨フレームの 組み立て



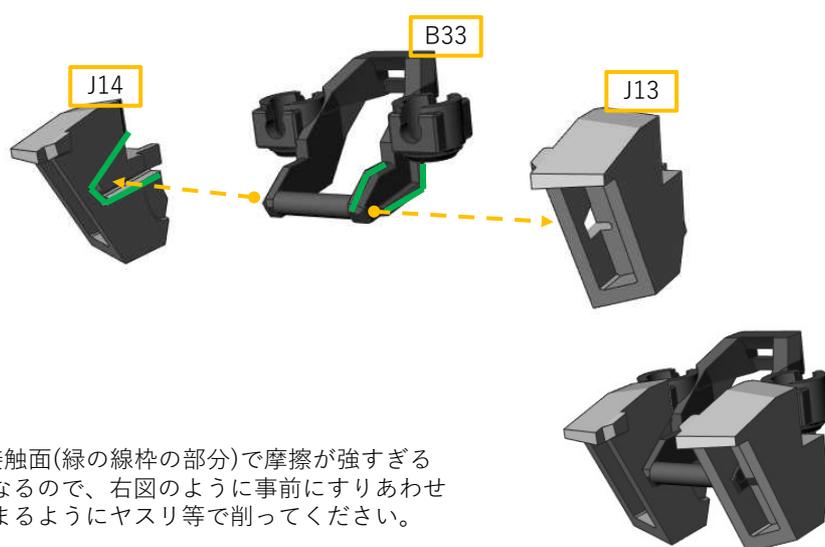
背骨フレーム



ボディの組み立て

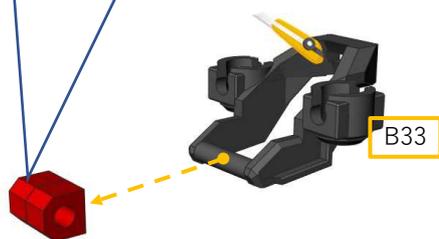
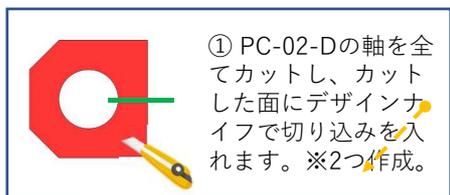


事前準備

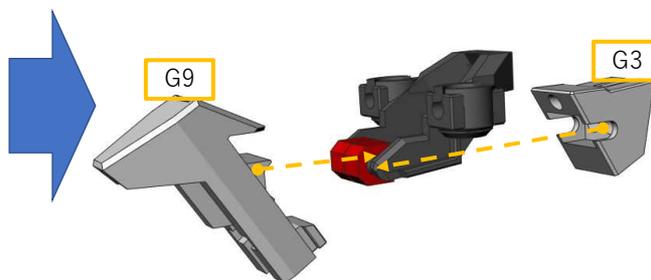


- ① B33とB13、B14の接触面(緑の線枠の部分)で摩擦が強すぎると、塗装ハゲの原因になるので、右図のように事前にすりあわせてみて、スムーズに嵌まるようにヤスリ等で削ってください。

ボディ1

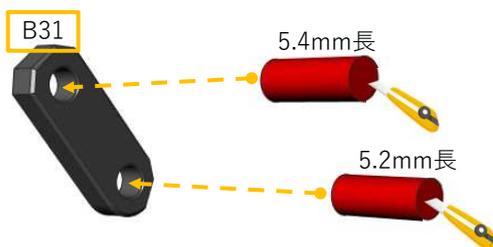


② PC-02-Dの切り込みを広げながらB33を差し込みます。※塗装後、組み立てます。



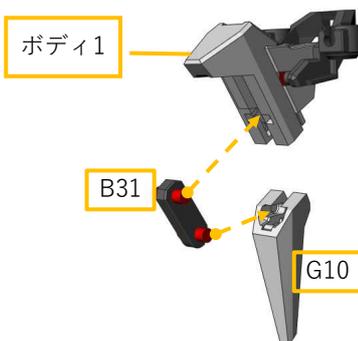
③ G9、G3でポリパーツごと、B33の軸を挟み込んで瞬着で固定します。※塗装後に接着。
※接着する際、B33には付着しないようにしてください。

ボディ2

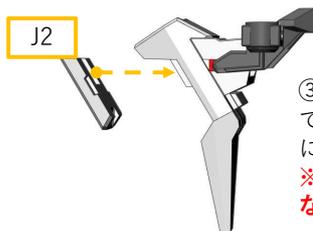


① 2mm径ポリ棒を5.4mm、5.2mmにカットし、B31に挿入します。※B31の向きに注意してください。

注！ B31の軸穴は2mm径ドリル→2.1mm径ドリルの順に軸穴調整してください。軸穴周辺をしっかりと指で抑えて、ゆっくり、少しずつドリルを回します。不用意に回すと軸穴が破損する可能性があります。

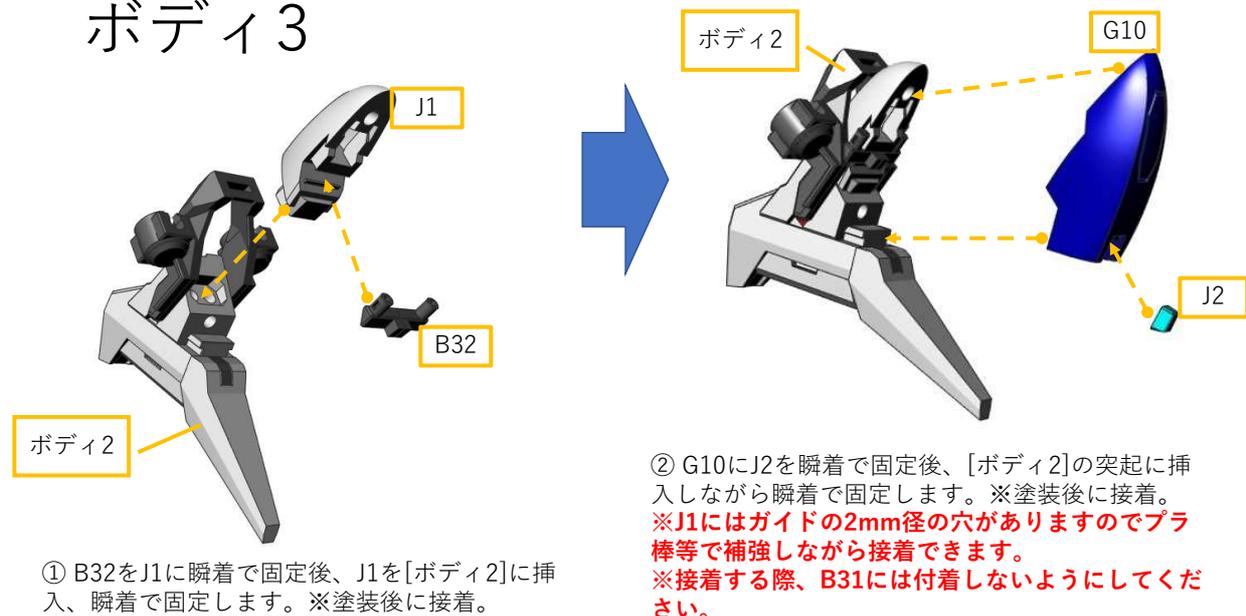


② [ボディ1]、G10にB31のポリ棒をグッと押し込みます。※塗装後に組み立て。

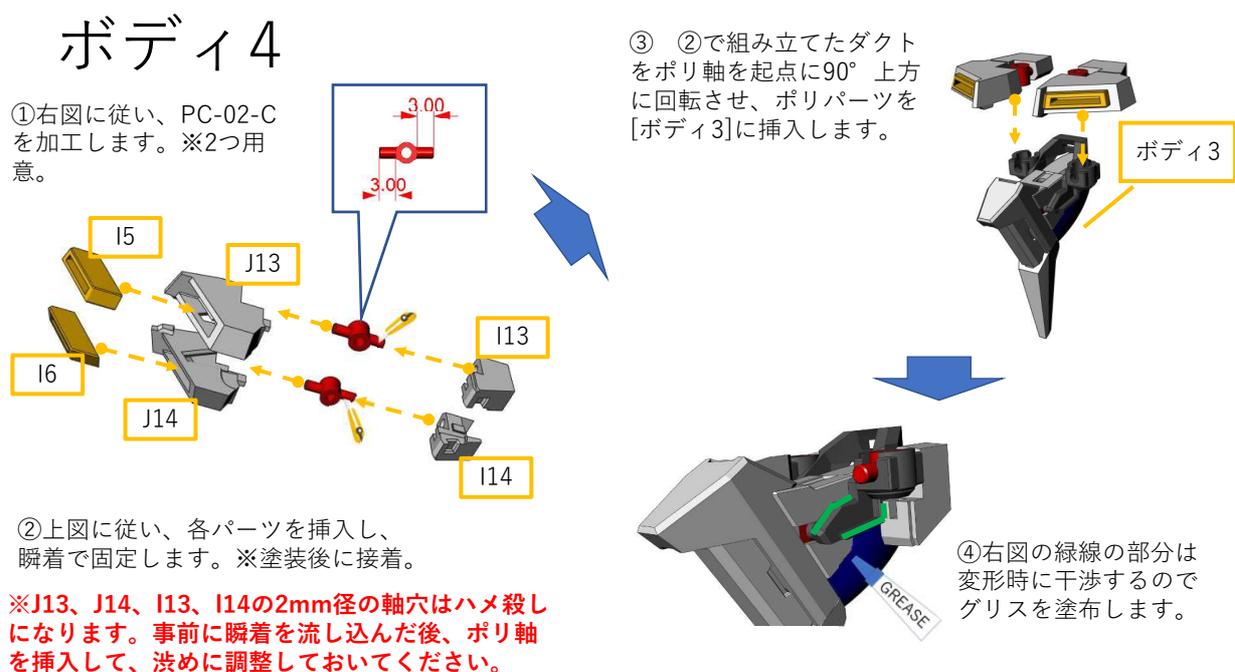


③ [ボディ1]の突起にJ2を挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着。
※接着する際、B31には付着しないようにしてください。

ボディ3

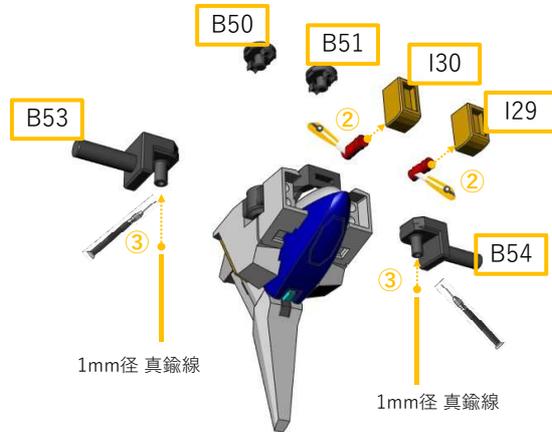


ボディ4



ボディ5

①下図に従い、各パーツを切り出します。



②I30、I29に2mm径、4.4mm長に加工したポリ棒を挿入します。※B50、B51、I29、I30はプリムローズ2分離・変形状態に使用する形状優先パーツです。MS形態では使用しません。

③B53、B54の軸に1.1mmのピンバイスで穴を広げ、1mm径の真鍮線を挿入、瞬着で固定します。

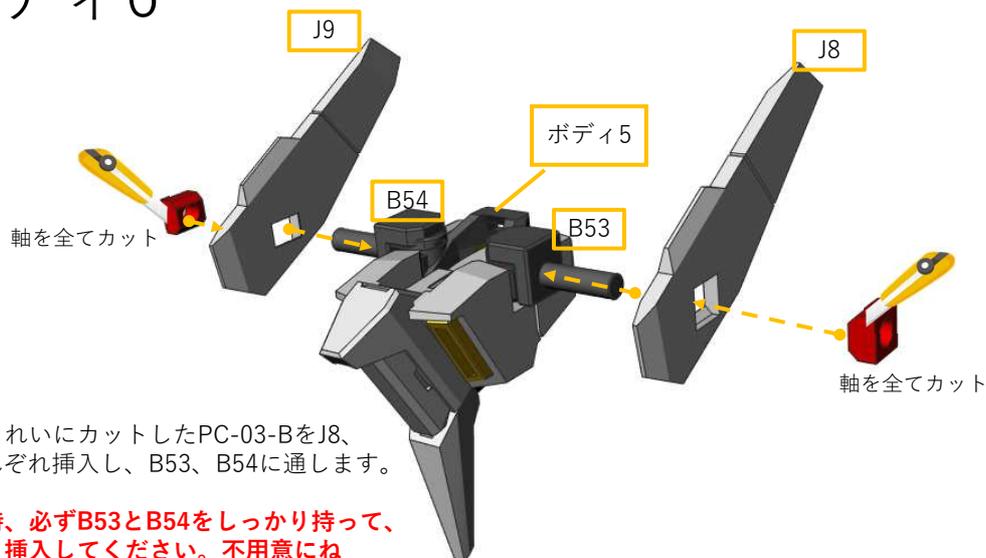
※B53、B54には予め1.1mm径の穴が空いていますので力を入れずゆっくりピンバイスを回してください。このときに回しすぎて貫通しないよう、気をつけてください。11.5mmの深さで挿入出来ればベストです。真鍮線が抵抗なく挿入できるようになったら、接着します。



③ポリパーツ受けの部分にグリスを塗布した後、B53、B54の軸を[ボディ4]のポリ穴に挿入します。

※この可動軸は他の可動軸に比べて弱いので取扱は慎重にしてください。動かす際は必ずB53、B54の軸の支点を意識して動かしてください。

ボディ6



①軸をきれいにカットしたPC-03-BをJ8、J9にそれぞれ挿入し、B53、B54に通します。

※この時、必ずB53とB54をしっかり持って、ゆっくり挿入してください。不用意にねじったりすると破損する恐れがあります。

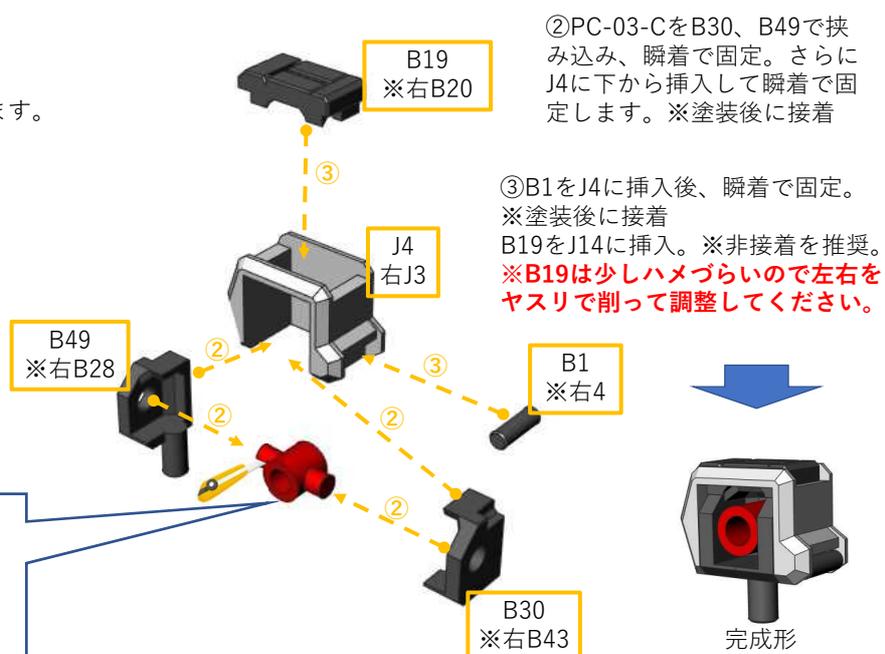
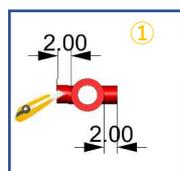
腕部の組み立て



左肩1

※右腕も左右対称で作ります。

①PC-03-Cの軸を2mm残してカットします。



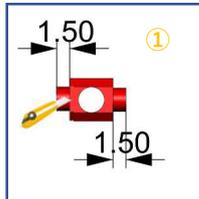
②PC-03-CをB30、B49で挟み込み、瞬着で固定。さらにJ4に下から挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着

③B1をJ4に挿入後、瞬着で固定。※塗装後に接着
B19をJ14に挿入。※非接着を推奨。
※B19は少しハマづらいので左右をヤスリで削って調整してください。

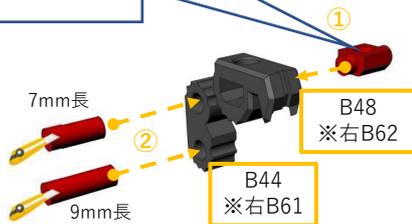
完成形

左上腕1

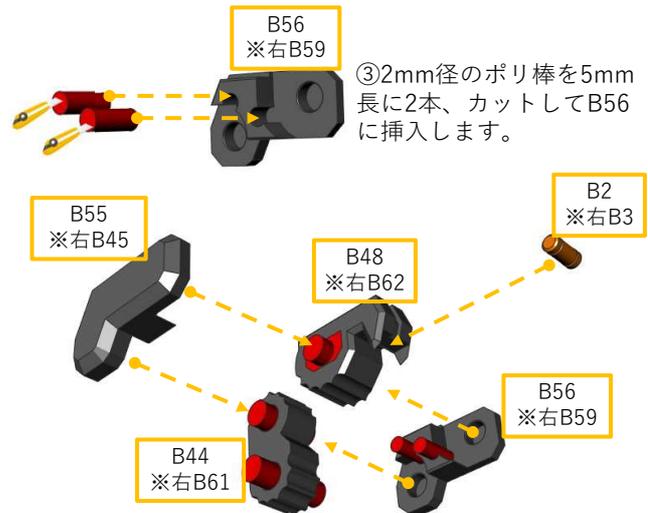
※右腕も左右対称で作ります。



①PC-03-Bの軸を1.5mm残してカットしてB48に挿入します。



②3mm径のポリ棒を7mm長、9mm長にカットして、B44に挿入します。

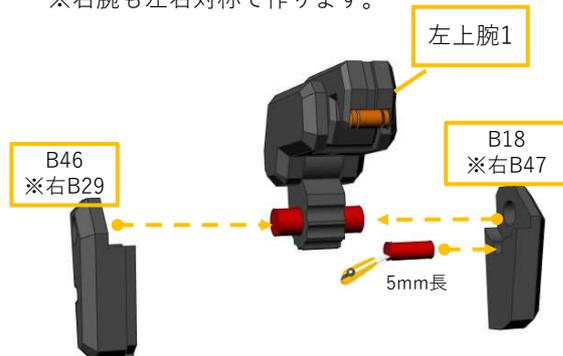


③2mm径のポリ棒を5mm長に2本、カットしてB56に挿入します。

④B48、B44をB55、B56で挟み込み、瞬着で固定します。また、B2をB48に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着
※ポリ軸を潰さないように少し面取りして挿入してください。
※B55とB56の接着はソフトタッチ(傷がつきにくいプライマー)等を使用してしっかり挟み込んで固定してください。

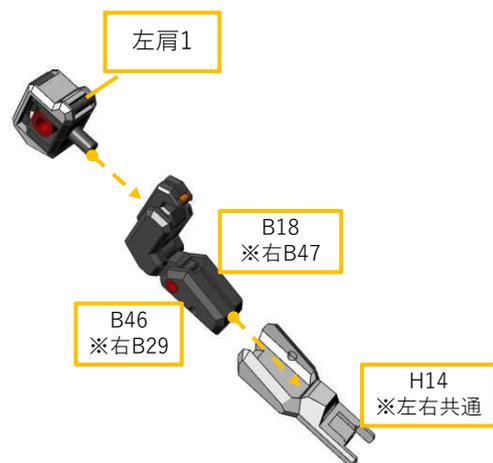
左肩上下腕1

※右腕も左右対称で作ります。



①2mm径のポリ棒を5mm長にカットして、B18に挿入し、そのまま[左上腕1]をB46と共に挟み込み、瞬着で固定します。※塗装後に接着

※ポリ軸を潰さないように少し面取りして挿入してください。
※B46とB18の接着はソフトタッチ(傷がつきにくいプライマー)等を使用してしっかり挟み込んで固定してください。



②[左肩1]を[左上腕1]のポリに挿入。続いて、B46、B18をH14に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着

左肩上下腕2

※右腕も左右対称で作ります。



①PC-03-Dのポリ軸を根本からカットして、B60に挿入。



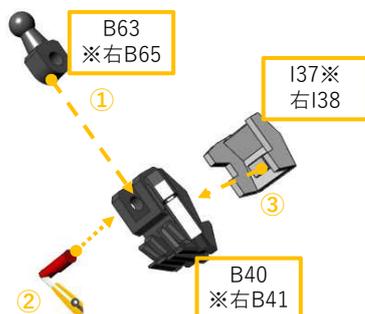
②B52、B9をB60に挿入し瞬着で固定。
※塗装後に接着



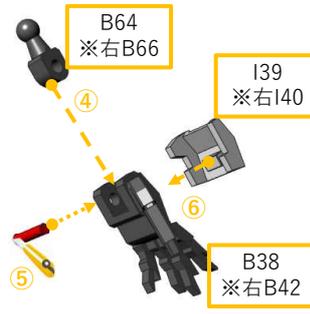
③B60を[左肩上下腕1]に挿入し瞬着で固定。
※塗装後に接着

左腕

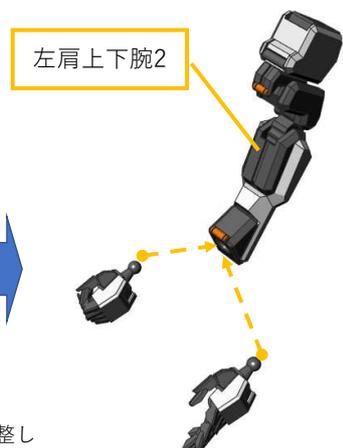
※右腕も左右対称で作ります。



①2mm径→2.1mm径ドリルで軸穴を調整した後、B63をB40に挿入。
②2mm径ポリ棒を6mm長にカットし、B63、B40を貫通して挿入。
③I37をB40に挿入して瞬着で固定
※塗装後に接着



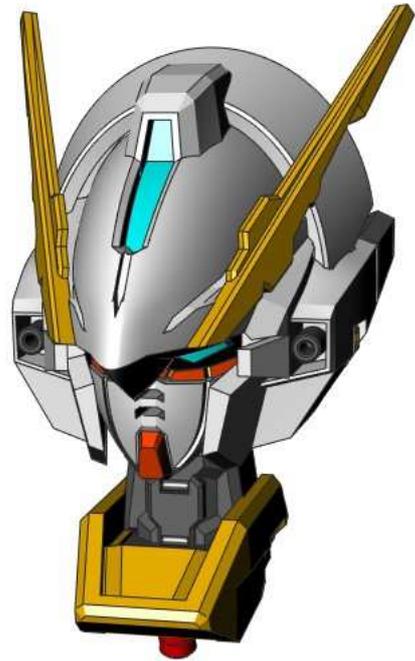
④2mm径→2.1mm径ドリルで軸穴を調整した後、B64をB38に挿入。
⑤2mm径ポリ棒を6mm長にカットし、B64、B38を貫通して挿入。
⑥I39をB38に挿入して瞬着で固定
※塗装後に接着



⑦任意で平手、握り手を[左肩上下腕2]に挿入。

注！ B63、B40、B64、B38の軸穴は2mm径ドリル→2.1mm径ドリルの順に軸穴調整してください。軸穴周辺をしっかりと指で抑えて、ゆっくり、少しずつドリルを回します。不用意に回すと軸穴が破損する可能性があります。

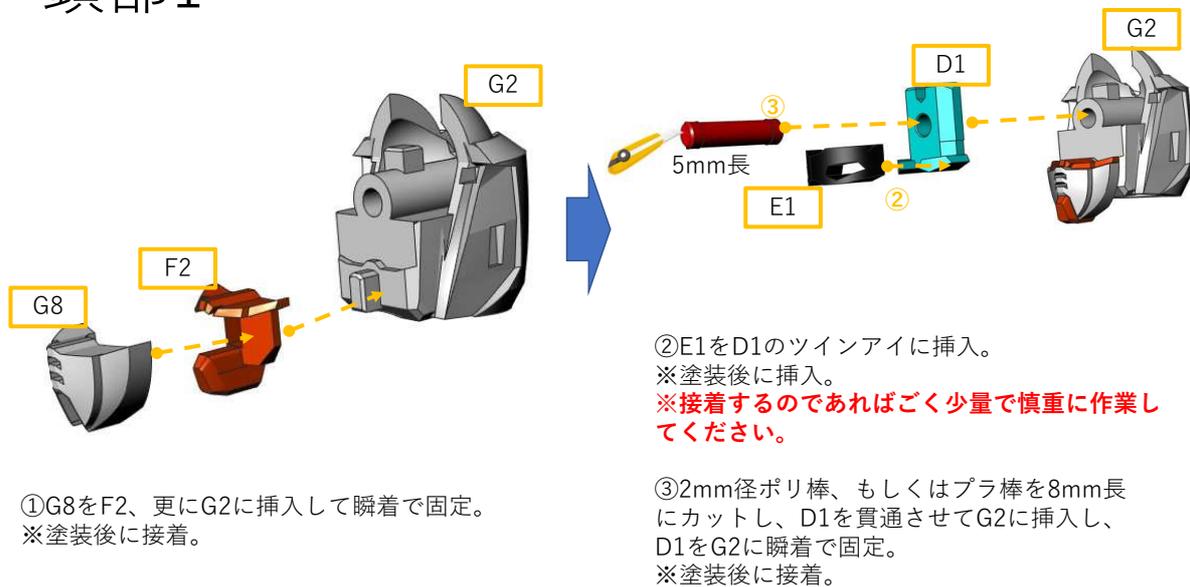
頭部の組み立て



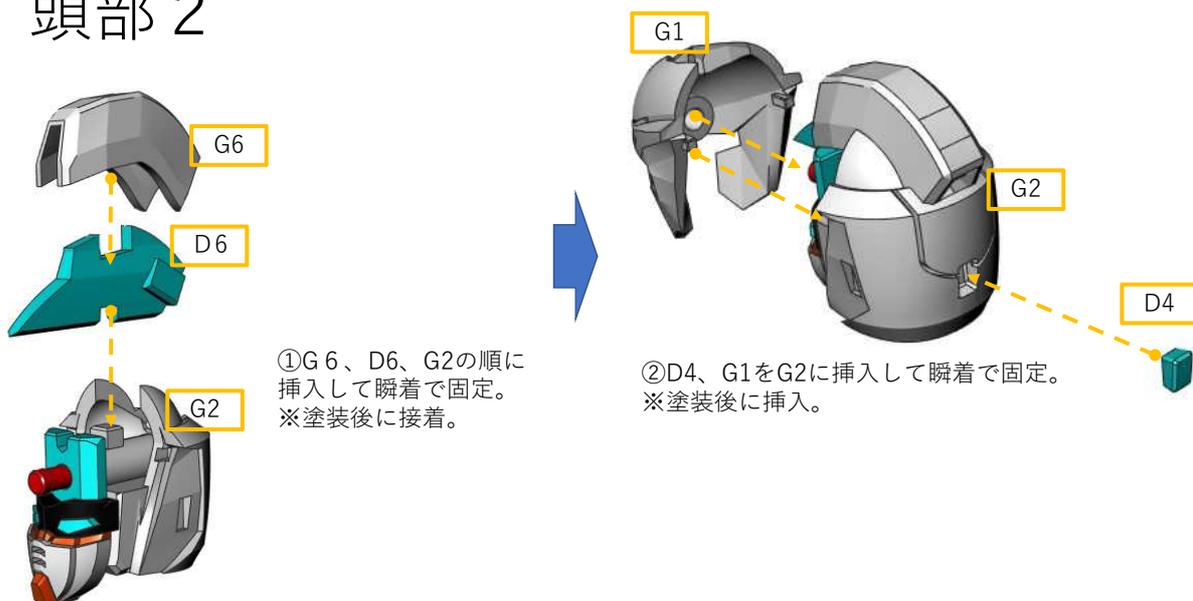
襟首1



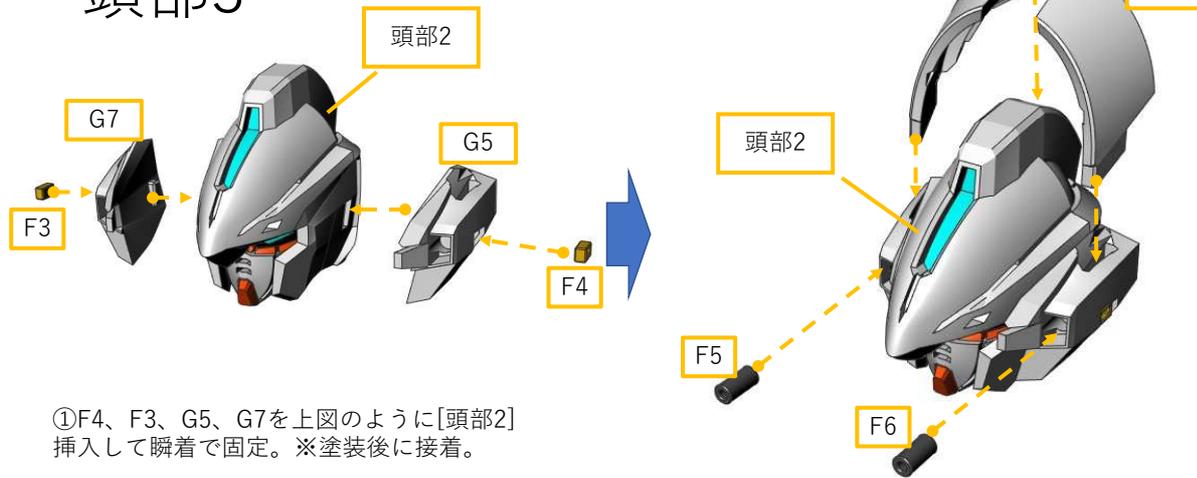
頭部1



頭部 2



頭部3

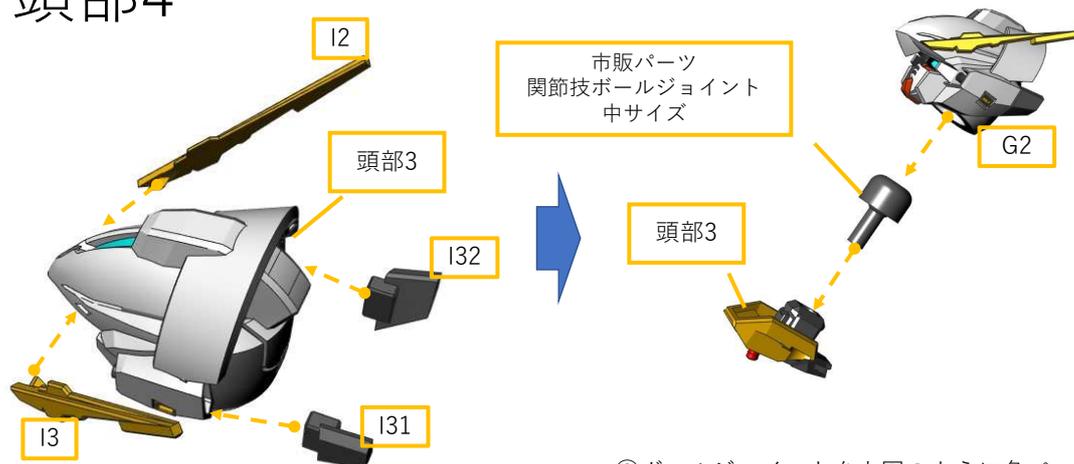


①F4、F3、G5、G7を上図のように[頭部2]挿入して瞬着で固定。※塗装後に接着。

※F3、F4のはめ込みがきつい場合、G5側を削って調整してください。

②G4、F5、F6を上図のように[頭部2]に挿入して瞬着で固定。
※塗装後に挿入。

頭部4



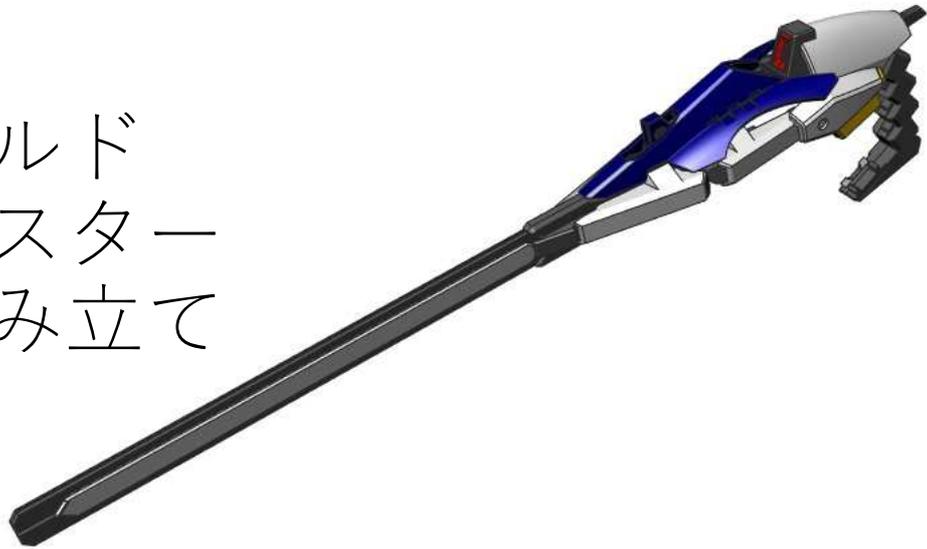
①F4、F3、G5、G7を上図のように[頭部2]挿入して瞬着で固定。※塗装後に接着。

※F3、F4のはめ込みがきつい場合、G5側を削って調整してください。

②ボールジョイントを上図のように各パーツに挿入して瞬着で固定。

※ボールジョイントはバンダイ ポールデンアームズのボールジョイント中でも代替できます。

シールド ブースター の組み立て



前左右指1

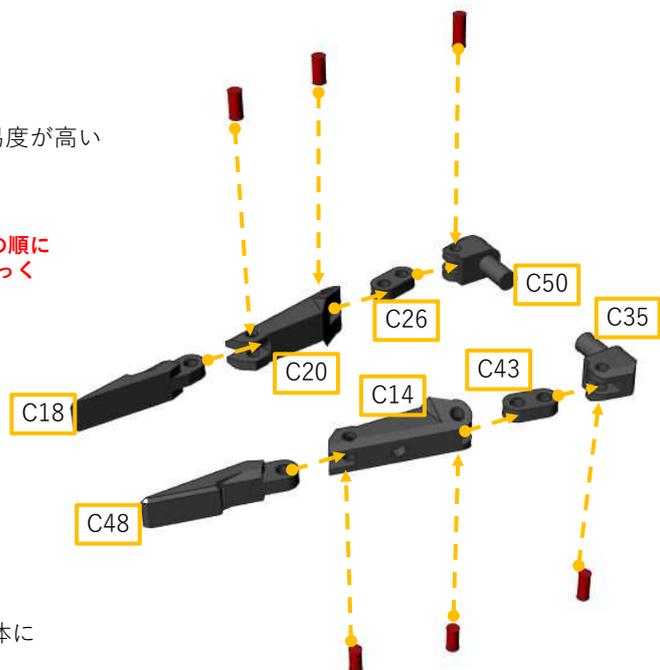
※この工程が本キットの中でも最も繊細で、難易度が高い箇所になります。

①各パーツの軸穴を2mm径ドリル→2.1mm径ドリルの順に軸穴調整します。軸穴周辺をしっかりと指で抑えて、ゆっくり、少しずつドリルを回します。不用意に回すと軸穴が破損する可能性があります。

②右図のように各パーツを挿入し、2mm径のポリ棒を長めに取り貫通させた後、余分な箇所をカットします。

軸穴の中心が通りづらい際はC20、C14、C50、C35の軸受けの内部を彫刻刀やタガネ等で削ってください。グリス塗布も有効です。

※前左右指1は一通り、本工程を組み立ててから全体にクリア&つや消し塗装することを推奨します。



後左右指1

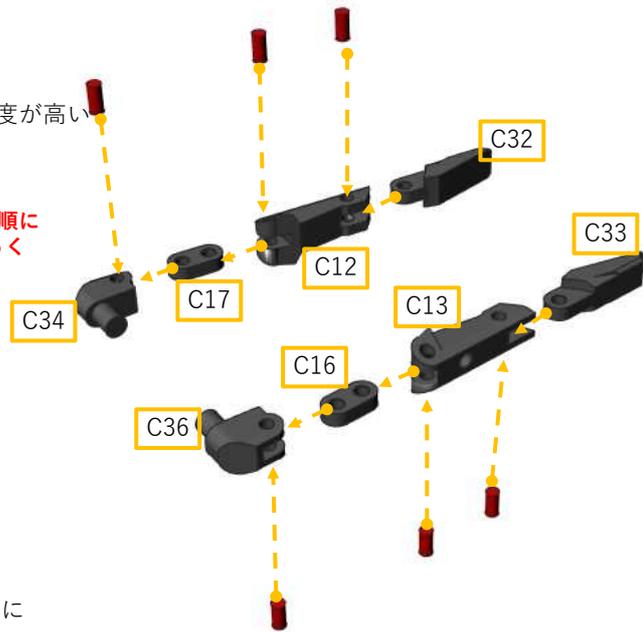
※この工程が本キットの中でも最も繊細で、難易度が高い箇所になります。

①各パーツの軸穴を2mm径ドリル→2.1mm径ドリルの順に軸穴調整します。軸穴周辺をしっかりと指で抑えて、ゆっくり、少しづつドリルを回します。不用意に回すと軸穴が破損する可能性があります。

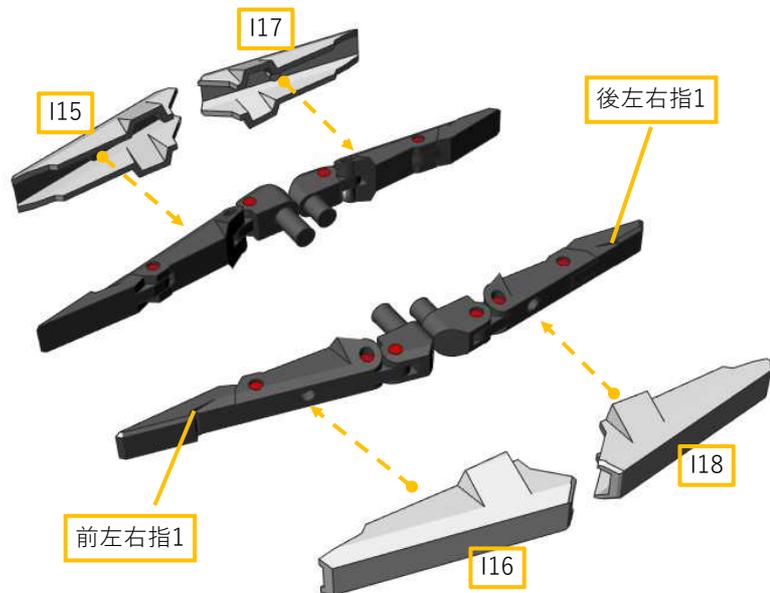
②右図のように各パーツを挿入し、2mm径のポリ棒を長めに取り貫通させた後、余分な箇所をカットします。

軸穴の中心が通りづらい際はC34、C36、C12、C13の軸受けの内部を彫刻刀やタガネ等で削ってください。グリス塗布も有効です。

※後左右指1は一通り、本工程を組み立ててから全体にクリア&つや消し塗装することを推奨します。



前後左右指1



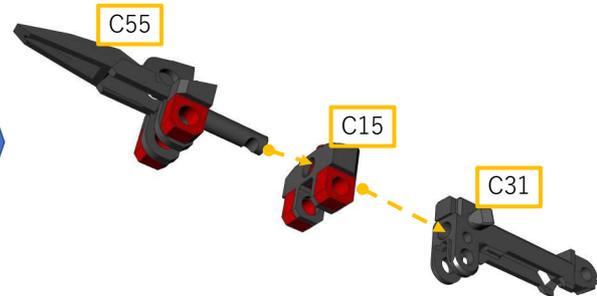
①I15、I16を前左右指1、I17、I18を後左右指1に挿入して瞬着で固定します。

フレーム1



①PC-03-Dのポリ軸を1.5mm残してカットし、C15に挿入します。

②上図のようにPC-03-DをC55、C15に挿入し、3mm径のポリ軸の突き出した余分な箇所をカットします。

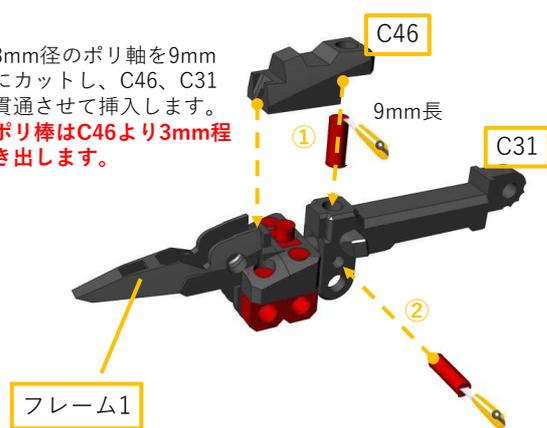


③C55の軸をC15、C31の順に挿入します。

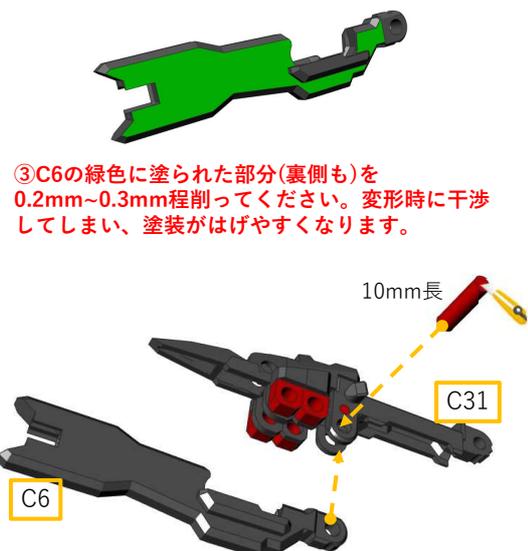
注：クロー形態への変形時、わずかですがC15はC55の軸をスライド移動します。スライドが固い場合、抵抗なく、スムーズに可動するように、軸を削って調整しておいてください。

フレーム2

①3mm径のポリ軸を9mm長にカットし、C46、C31を貫通させて挿入します。
※ポリ棒はC46より3mm程突き出します。



②2mm径のポリ軸をC31、[フレーム1]を貫通させて挿入し、突き出した余分な箇所をカットします。

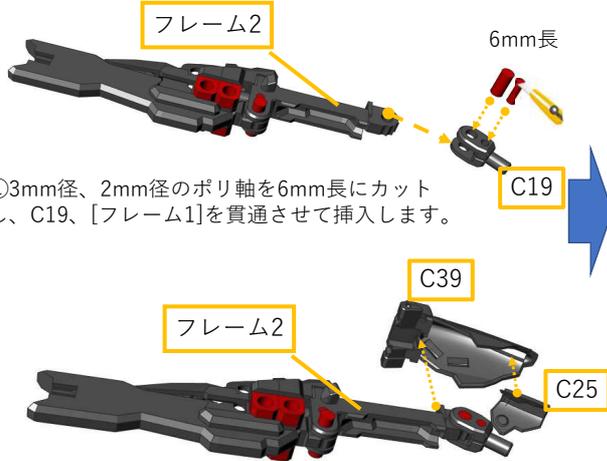


③C6の緑色に塗られた部分(裏側も)を0.2mm~0.3mm程削ってください。変形時に干渉してしまい、塗装がはげやすくなります。

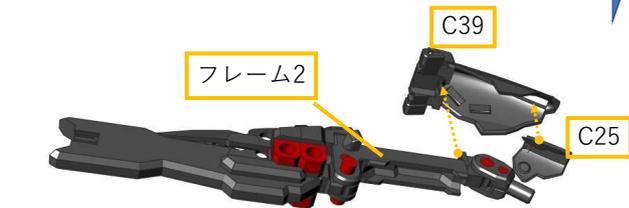
④3mm径ポリ棒を10mmにカットし、C6、C31を貫通させて挿入します。

※ポリ棒はC31から2mm程、突き出させます。この部分に後工程でグリップが付きます。

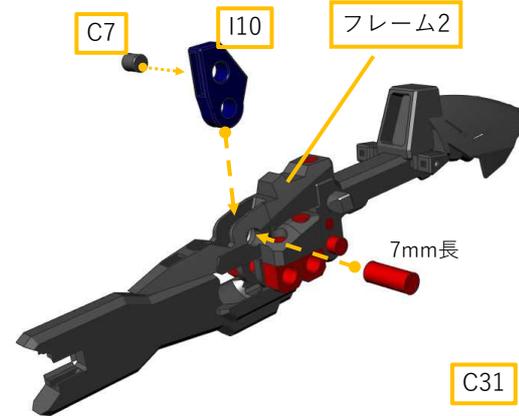
フレーム3



①3mm径、2mm径のポリ軸を6mm長にカットし、C19、[フレーム1]を貫通させて挿入します。



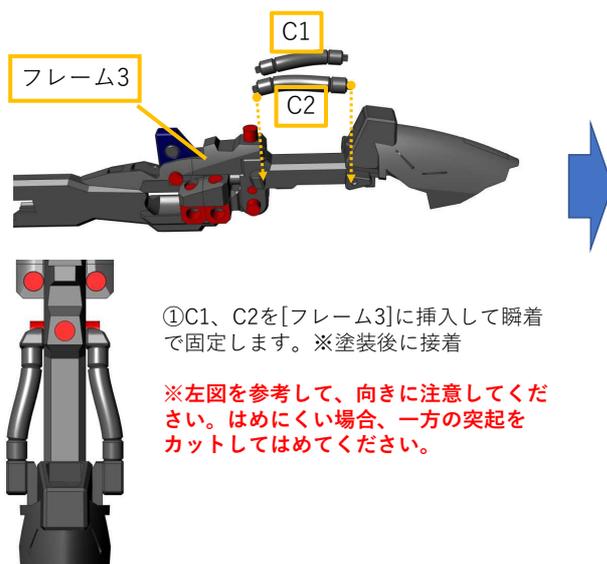
②C39に[フレーム2]、C25を挿入して瞬着で固定します。
※塗装後に接着
※C39と[フレーム2]は少しはめにくいので、[フレーム2]側の突起を削ってください。



③C7をI10に挿入し、さらにI10を[フレーム2]に挿入し、3mm径ポリ棒で貫通させた後、余ったポリ棒をカットします。

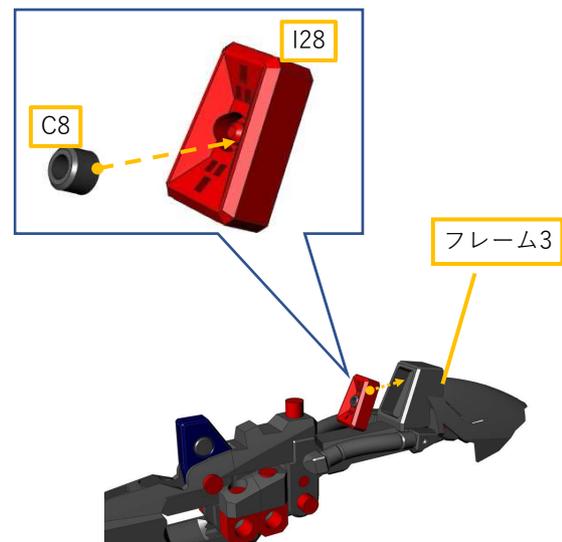
※I10、[フレーム2]の軸穴はいつもよりも緩めに、3.0→3.1→3.2mmドリルで調整してください。変形させやすくなります。

フレーム4



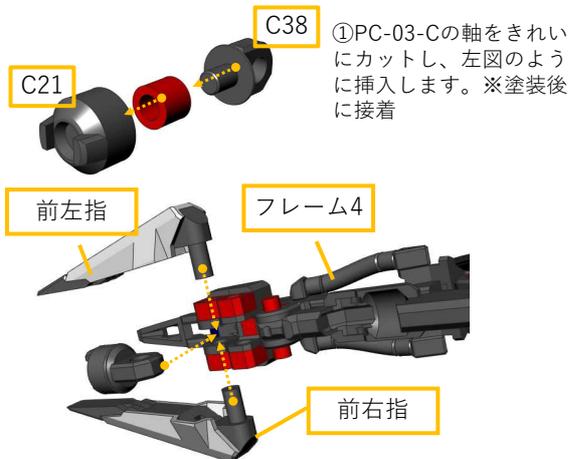
①C1、C2を[フレーム3]に挿入して瞬着で固定します。※塗装後に接着

※左図を参考して、向きに注意してください。はめにくい場合、一方の突起をカットしてはめてください。



③C8をI28に挿入し、さらにI28を[フレーム3]に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着

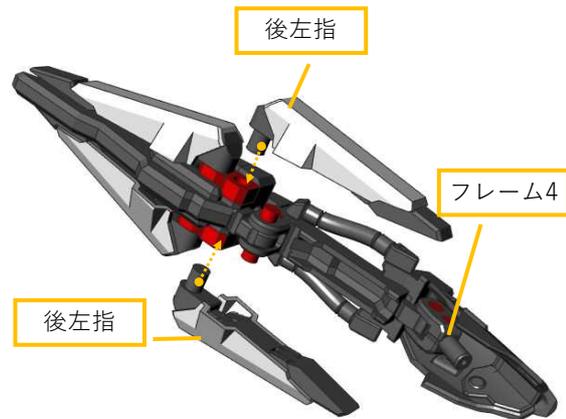
フレーム5



①PC-03-Cの軸をきれいにカットし、左図のように挿入します。※塗装後に接着

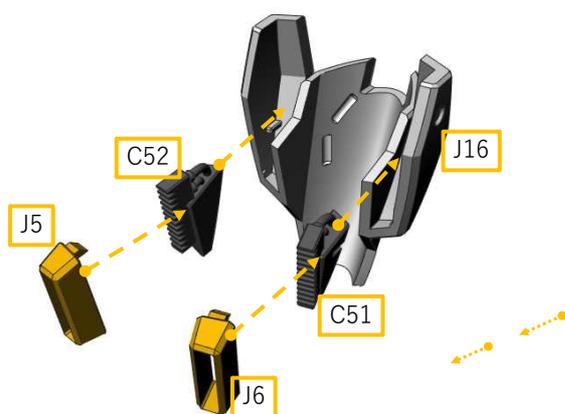
②C38を[フレーム4]に挿入し、さらに前指を左右それぞれポリパーツに挿入して挟み込みます。※塗装後に組み立て

※前後の指パーツを挿入する際は、必ず軸の根元を持って慎重に作業してください。指側が破損する恐れがあります。

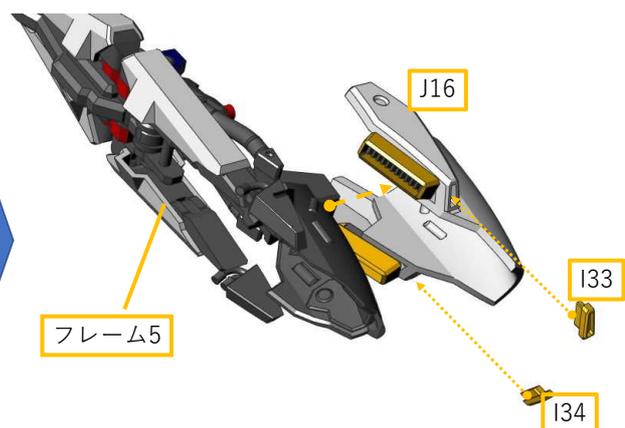


③後指を左右それぞれ [フレーム4]に挿入します。

ボディ1

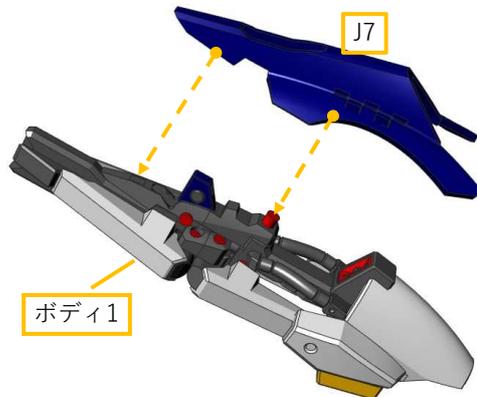


①各パーツを上図のように挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着

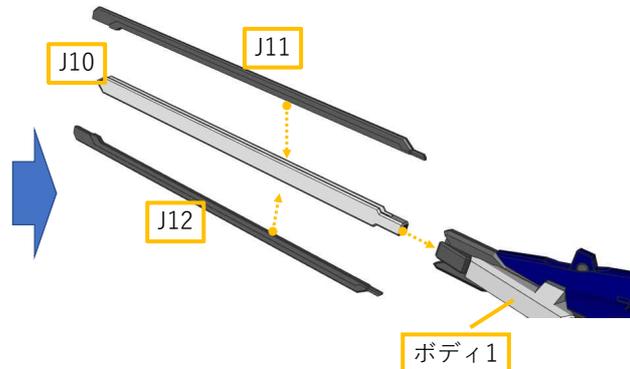


②I33、I34、[フレーム5]をそれぞれJ16に挿入し、瞬着で固定します。※塗装後に接着

ボディ2



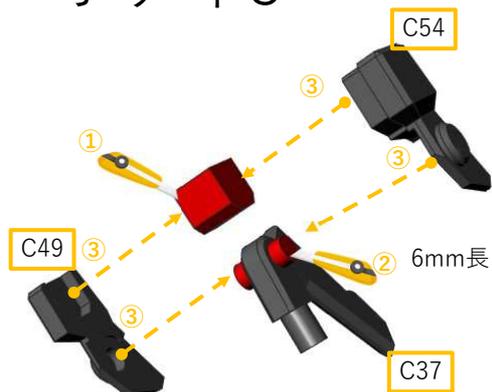
- ①J7を[ボディ1]のポリ軸とホゾ穴で、はめあわせします。
※非接着推奨
 ※塗装後に組み立て



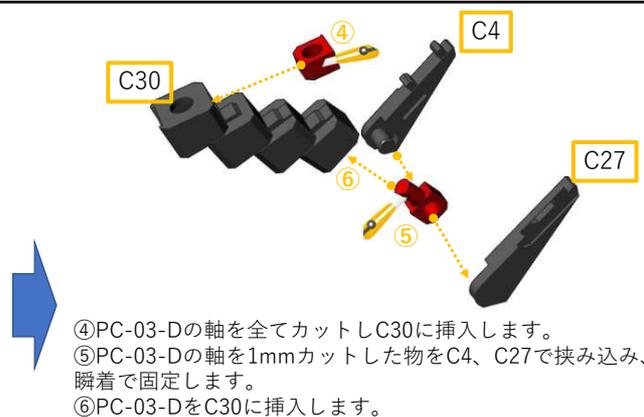
- ②J11、J12をJ10に挿入し接着後、[ボディ1]のパレルに挿入、瞬着で固定します。

※J11、J12は成形時に歪みが大きいので、熱矯正である程度まっすぐに矯正してください。J10が比較的歪みがないので、接着してしまえば、まっすぐになります。

ボディ3



- ①PC-03-Aの軸を全てカットし軸がついていた面を**0.1mm程薄くデザインナイフ等で削ります。**
 ②3mm径ポリ棒を6mmにカットした物を、C37に挿入します。
 ③PC-03-AとC37をC54、C49で挟み込み、瞬着で固定します。※塗装後に接着

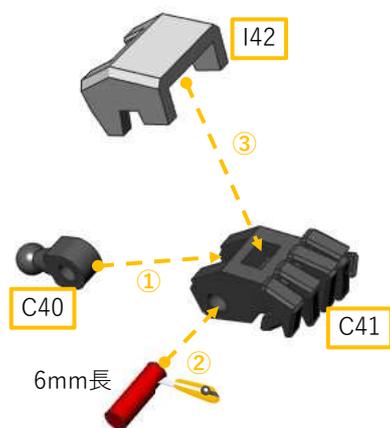


- ④PC-03-Dの軸を全てカットしC30に挿入します。
 ⑤PC-03-Dの軸を1mmカットした物をC4、C27で挟み込み、瞬着で固定します。
 ⑥PC-03-DをC30に挿入します。

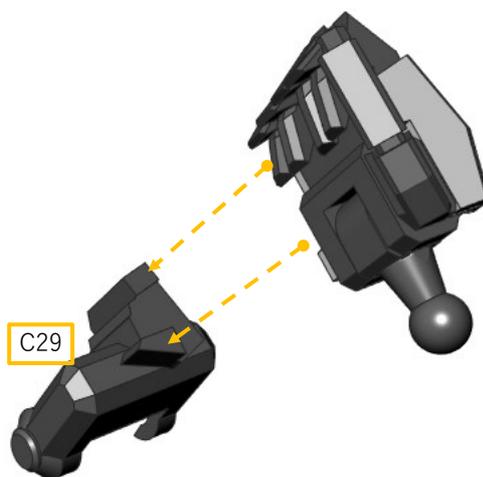


- ⑦各パーツをポリパーツに挿入します。

グリップ

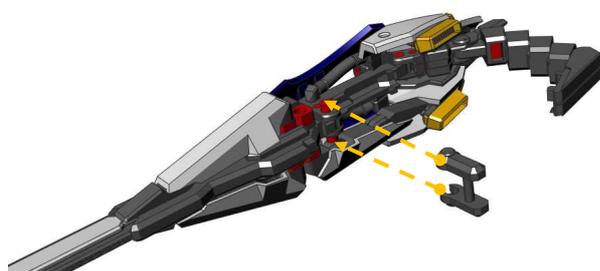


- ①2mm径→2.1mm径ドリルで軸穴を調整した後、C40をC41に挿入。
- ②2mm径ドリルを6mm長にカットし、C40、C41を貫通して挿入。
- ③I42をB41に挿入して瞬着で固定
※塗装後に接着



- ④C29をグリップに瞬着で固定します。※塗装後に接着

補足：グリップの種別



こちらのグリップはディスプレイ、クロー形態への変形用です。

こちらのグリップは蛇腹アーム併用の持ち手です。



右肩のカバーを外して蛇腹アームを接続することも出来ます。

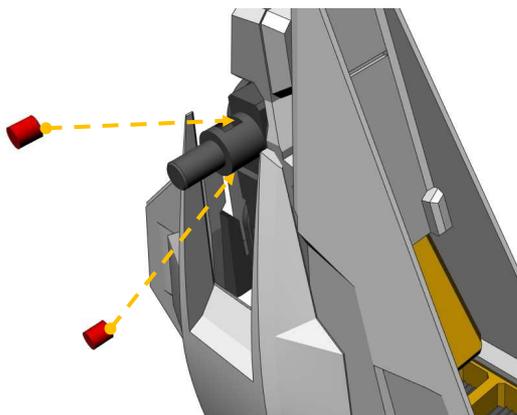


最終組立

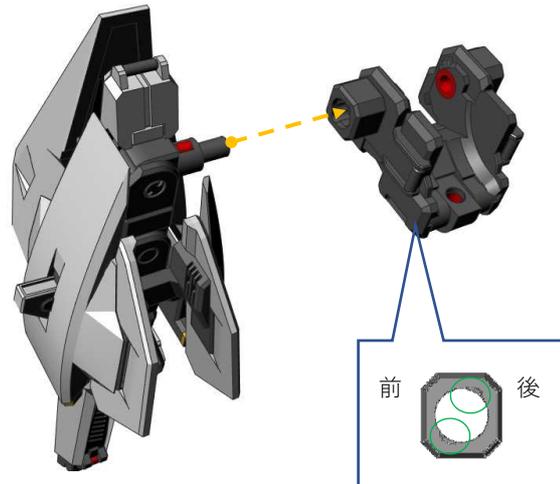


股間ブロック&脚部

※右脚も左右対称で組み立てます。



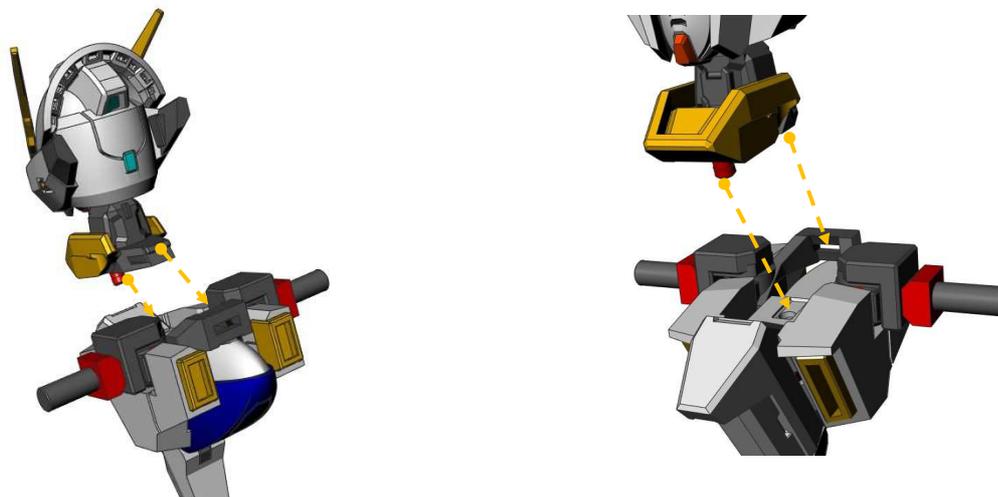
①2mm径のポリ棒を2mm長にカットし、股関節軸に挿入します。



②ポリ棒を右図の股関節軸受の挟んでいる部分に合わせて、脚部を挿入します。

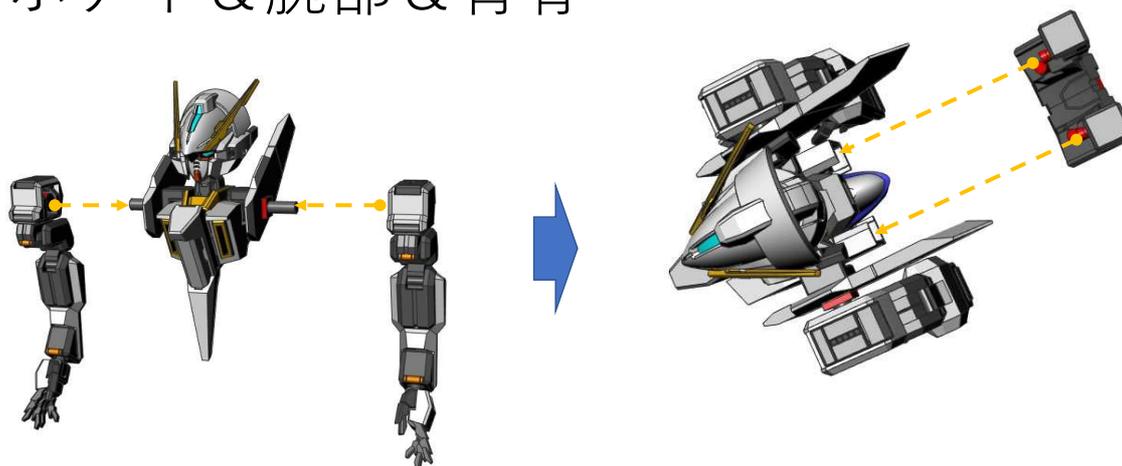
※ポリ棒はそのままだと外れやすいので極微量の瞬着で仮止めするのも有効です。瞬着が完全に固まってから脚部を挿入してください。

頭部 & ボディ



①頭部をまずボディフレーム後方の溝に挿入してから、ポリ棒をグッと差し込みます。

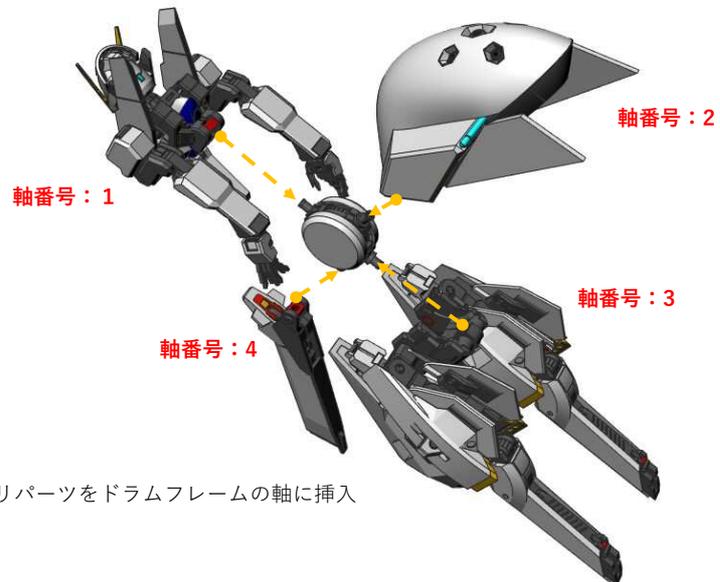
ボディ & 腕部 & 背骨



①腕部を肩関節軸に挿入します。
 ※肩関節軸の根本、バインダーを持って慎重に差し込んでください。

①背骨フレームのポリ棒をボディのダクト後方に挿入します。

最終組立



完成

お疲れ様でした！！

